

第四十四回帝國議會  
衆議院

# 國有財産法案委員會會議錄(筆記)第一回

## 委員會成立

本委員ハ大正十年一月二十五日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

清水市太郎君 澤 來太郎君 宮古啓三郎君  
柳原九兵衛君 日野 辰次君 長谷場 敦君  
竹上藤次郎君 深見寅之助君 野口忠太郎君  
佐野 正雄君 伊藤 廣幾君 清 峯太郎君  
高木 正年君 降旗元太郎君 加藤 定吉君  
本田 恒之君 中川幸太郎君 上島益三郎君  
同月二十六日午前十時二十分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

清水市太郎君 澤 來太郎君 宮古啓三郎君  
柳原九兵衛君 日野 辰次君 長谷場 敦君  
竹上藤次郎君 深見寅之助君 野口忠太郎君  
佐野 正雄君 降旗元太郎君 中川幸太郎君  
上島益三郎君

年長者柳原九兵衛君投票管理者トナル  
○投票管理者(柳原九兵衛君)ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フベキ旨ヲ宣告ス

○長谷場敦君ハ投票ヲ用キズ清水市太郎君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ其ノ數ヲ三名トシ委員長ノ指名ニ一任スベシトノ意見ヲ提出ス

○投票管理者(柳原九兵衛君)ハ長谷場君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ清水市太郎君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

(此ノ時投票管理者退席シ清水市太郎君委員長  
席ニ著ク)

○委員長(清水市太郎君)ハ宮古啓三郎君、竹上藤次郎君及上島益三郎君ヲ理事ニ指名シ散會ヲ宣告ス  
于時午前十時二十五分

## 會議

大正十年一月二十八日午後一時十五分開議

出席委員左ノ如シ

清水市太郎君 澤 來太郎君 宮古啓三郎君

日野 辰次君 長谷場 敦君 竹上藤次郎君  
深見寅之助君 野口忠太郎君 佐野 正雄君  
伊藤 廣幾君 降旗元太郎君 野田文一郎君  
中川幸太郎君 上島益三郎君  
同月二十六日委員本田恒之君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日野田文一郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ  
出席政府委員左ノ如シ

大藏省主計局長 西野 元君  
大藏書記官 太田嘉太郎君  
主計局書記官 河本 文一君  
農商務次官 田中 隆三君  
農商務省山林局長 中井 勵作君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

## 國有財産法案

○委員長(清水市太郎君) ソレデハ國有財産法案ノ委員會ヲ開會致シマスガ、御諮リ致シマスガ、本案ハ國家經濟ニ關スル最モ重大ナル法案ノ一ト見受ケラレマスルカラ、諸君方ノ中ニハ調査研究ヲ重ネテ御在ノ方モアリマセウカラ、御研究ニナツテ居ラル、所ヲ十分御意見ヲ承ルコトニ致シタイと思ヒマス、其前ニ政府委員ノ說明ヲ求メルコトニシタイ、如何デアリマスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○委員長(清水市太郎君) ソレデハ政府委員ノ御說明ヲ求メマス、成ベク詳細ニ...

○西野政府委員 只今大藏大臣ハ差支ガアリマスカラ、私ガ代ッテ大體國有財産法案ノ提出ノ理由ニ就テ、御說明申上ゲマス、國有財産法制定ノ大體ノ理由ニ就テハ、先日本議場ニ於テ大藏大臣ヨリ其提案ノ理由ヲ申上ゲテゴザイマス、今日ニ及ビマシタ沿革ニ就テモ、大體其要ヲ盡シテ居リマスカラ、ソレニ依ッテ御承知下スツタコト、信ジマス、此處ニハ此財産法案ノ各條項ニ關スル點ニ就テ、概括的ニ其大要ヲ申上ゲタイト存ジマス、此法案ノ目的トスル所ハ國有財産ノ管理ニ關スル現行ノ法制ニ於テ、不備ナル

所ヲ補ヒマシテ、其法規ヲ統一スル、ソレニハ本法ノ制定ノ必要ト致シマスノデ、其要點ノ第一ハ立法ノ形式ニ依ルト云フ點ガ第一ノ點デアリマス、國有財産ニ關係スル現行ノ法制ハ、御承知ノ通り多クハ敕令ノ形式ニ依ッテ居リマス、間々森林其他ニ關シテ、立法ノ形式ニ依ッテ居リマスガ、管理其他主要ナル法規ハ何レモ敕令ノ形式ニ依ッテ居リマス、國有財産ト云フモノハ國家ノ財政上重要ナル關係ノアルコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、歲計豫算ニ密接ナル關係ヲ有シテ居リマスカラ、何等カ各省ト交渉スルコトガ必要デアルト信ジマスルシ、又其管理ニ就テハ一般私法ノ原則トシテ相當ノ程度ノ例外ヲ設ケル必要モアリマスカラ、從來ノ如ク敕令ノ規定ニ依リマセスデ、立法ノ規定ニ依ッテ帝國議會ノ協賛ヲ經テ施行スルコトニ致シタルデアリマス、第二ハ國有財産ノ名稱並ニ其範圍ノ點デアリマスガ、是ハ御手許ニ配付シタル國有財産法ノ第一條ニ規定シテアリマシテ、現行法制ノ上ニ於テハ御承知ノ通り官有財産ト云フ名稱ヲ用ヒ來タノデアリマス、殆ド官有財産ト云フ名稱ガ特別ノ字句ヲ成シテ居ルヤウナ形デゴザイマスガ、今日ノ法律ノ思想カラ申セバ、官有財産ト云フヨリモ、國有財産ト申シタ方が相當ト思ヒマスカラ、名稱ヲ國有財産ト致シマシタ、即チ此各條項ニ於テ、總テ國有財産ト云フ文字ニ改メテアルノデアリマス、然ラバ國有財産ノ範圍ハ如何ニスルカト云フ内容ニ就テハ、大體現行法制ニ於ケル、官有財産管理規則ヲ適用シテ、其範圍ハ一致シテ居リマス、即チ國有ノ不動產ヲ主眼トシテ、其他ノ敕令ヲ以テ定メタル所ノ不動產並ニ權利ヲ含メマシテ、國有財産ノ範圍トシテ適用ヲ受ケシムル見込デアリマス、此不動產並ニ權利ニシテ國有財産法ノ適用ヲ受ケシムルモノニ就テハ、其内容千種萬態デアリマスカラ、一々法律ヲ以テ直接規定スル事ハ困難デアリマス、爲メニ敕令ヲ以テ規定致ス事ニ致シタ次第デアリマス、大體當局ノ腹案トシテ考ヘマスル所

ハ、現行法ニ於テモ官有財産ノ中ニ包含サレテアル不動産ノ附屬物トカ、船舶並ニ器具ノヤウナ物ノ外ニ重要ナル動産、即チ特ニ貴重ナル器具、機械類、其外地役權、工業權ト云フヤウナモノマデモ及ボシタイト考ヘテ居リマス、第三ニハ國有財産ノ分類ニ關スル事、官有財産ニシテ、是ハ第二條ニ規定シテアリマス、國有財産ノ種類ヲ分テ四ツト致シタルデアリマス、此種類ヲ分ケマシタコトハ、詰リ國有財産ハ用途ニ依テ管理スル上ニ、各々法制ヲ異ニスル必要ガアル爲メニ、各々用途事項ノ異ナルニ從テ管理上ノ便宜ニ基イタノデアリマス、第一ハ公共財産即チ、道路、橋梁、公園ト云フヤウナ直接公共ノ用ニ供セラルモノデアリマス、第二ハ公用財産、即チ官廳ノ官舎トカ工場、學校、鐵道、圖書館ト云フヤウナ公用ニ供セラル、モノデアリマス、第三ニハ營林財産、即チ國家ニ於テ直接森林經營ノ目的ニ供スル所ノ財産、即チ森林、原野、林道ト云フヤウナモノヲ第三ノ種類ト致シマス、第四ハ公共用財産、公用財産、營林財産ノ何レニモ屬セザルモノデ、名ケテ雜種財産、國家ガ持ッテ居ル雜種ノ財産ヲ之ニ包含スルノデアリマス、第三條ハ國有財産ノ事務ノ管理並ニ之ヲ統轄スル國家ノ機關ニ關スル點デ國有財産ニ關スル事務ハ、各省大臣ガ之ヲ管理シ、總轄スル事務ハ大藏大臣ガ管理スルコトニシタルデアリマス、是ハ御承知ノ通り從來國有財産ニ關スル事務ハ、各省大臣ガ管理シテ居リマシテ、之ヲ綜合統轄スル機關ノ設ケガナカッタノデアリマス、之レガ爲メニ各省ニ於ケル財産管理ノ方法ガ自ラ區々ニ互ッテ居リマシテ、毎年議會ニ報告スル時分ニ、其職責、若クハ其増減異同ハ、各省各別ニ調製シテ、何等統一シテ通覽スル便宜ヲ缺イテ居ッタノデアリマス、隨テ國有財産ノ總額ハ幾ラデアルト云フヤウナ事ヲ一目シテ見ルノ便宜モナカッタノデアリマスカラ、本法案ニ於キマシテハ從來ノ如ク國有財産ノ事務管理ハ各省大臣ニ致サセマスケレドモ、而モ之ニ關スル統轄事務ハ財政事務ノ一部トシテ恰モ大藏大臣ガ國家ノ歲計ノ全體ニ對シテ責任ヲ有スルガ如クニ、總轄事務ハ大藏大臣ノ管理ニ屬スル事ニ致シタルデアリマス、第五ノ點ハ國有財産

ノ處分ニ關スル點デアリマシテ、是ハ本法案第四條乃至第九條、第十一條、並ニ二十三條ニ規定シテアリマスガ、國有財産ノ處分ト云フ事ハ、國ノ財政ト密接ナル關係ヲ持ッテ居リマスカラ、公共用財産トカ若クハ公用財産トカ、其性質上私ノ處分ヲ許サナイモノハ勿論デアリマスガ、其他ニ使役ノ目的ヲ持ッテ居リマスル所ノ雜種財産ニ於テモ、他人ニ讓與スルトカ若クハ之ヲ會社等ニ出資スルト云フヤウナ事柄ハ、何レモ法律ノ根據ノアル場合デナケレバ之ヲ認メナイト云フ事ニ致シマス、又其交換即チ國有財産ト民有財産ト交換スルト云フ場合ハ、現今ノ規定ガ餘リ妥當デナイヤウデアリマスカラ、之ヲ適當ノ程度ニ改正致シマシテ、實際ニ應ゼシムル事ニ致シタノデアリマス、即チ從來ハ坪數モ價格モ全ク同様にナケレバ交換スルコトガ出來ヌト云フ規定ガアリマシタガ、是等ハ餘リ嚴酷ニ過ギテ實際ニ應ジナイ憾ガアリマスカラ、多少價格ノ差ガアリマシテモ、其差額ハ金錢ヲ以テ補足スルコトニ致シテ、全然坪數ガ足ラヌ場合ニ於テモ、之ヲ認ムルト云フ事ニ致シタルデアリマスガ、一面斯様ニシテ緩和致シマシタケレドモ、他面ニハ此交換ト云フコトハ唯ダ故ナクシテ漫ニ交換スルコトヲ許サナイノデアリマシテ、必ズ公共用、公用若クハ公益事業ニ供スル爲メニ必要アル、若クハ公共團體ニ於テ必要アル場合ニ限ッテ、之ヲ認メル事ニ致シタルデアリマス、第六ハ國有財産ニ就テ境界査定ヲ致ス場合ノ事ヲ規定サレタノデアリマス、第十條、乃至第十四條ニ規定シテアリマス、從來官有財産ニ就キマシテハ別段境界査定ト云フ事ニ就テ規定ガ無イノデアリマス、唯ダ國有林野ニ就テノミ有リマシタガ、是ハ自カラ國有林野ノミナラズ、一般ノ國有地ニ就テモ斯ノ如キ規定ヲ存スル必要ヲ認メマシテ、從來取扱ヲ致シテ居リマシタガ、今申上ゲマシタ條項ニ其規定ヲ定メタノデアリマス、第七ハ國有財産ノ貸付其他ノ取扱ニ關スル規定デアリマシテ、第十五條乃至第二十三條ニ規定シテアリマス、即チ國有財産ノ貸付其他ノ使用收益ノ契約ニ就キマシテ、現行ノ諸法令ヲ參酌致シテ之レヲ綜合補正致シマシテ、夫々必要ナル規定ヲ

設ケ、又國有地ノ開拓トカ、若クハ水面ノ埋立干拓ト云フ事ヲ致サセマス場合ノ取扱ニ關シテモ、ソレゾレ規定ヲ設ケタルデアリマス、第八ハ寺地ノ取扱デアリマス、即チ寺院ノ用ニ供シテ居ル土地ノ取扱ニ關スル件デアリマシテ、第二十四條ニ規定シテアリマス、元來國有財産ノ中デ寺院又ハ佛堂ノ用ニ供シテ居ルモノハ、國ト寺院トノ間ノ財產上ノ權利關係ニ就キマシテ甚ダ不備ナルモノガアッタノデアリマス、仍テ本法案ニ於キマシテハ此寺院又ハ佛堂ノ用ニ供スル國有地ノ權利關係ハ、最モ貸付ニ類似シテ居ルモノト認メマシテ、是等ノ從前ヨリ引續キ寺院又ハ佛堂ノ用ニ供スル雜種財産ハ、其用ニ供シテ居ル間ハ無償デ之ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ貸付シタルモノト看做シテ、其法律ノ根本的關係ヲ決定致シタルデアリマス、但シ之ガ爲メニハ多少條件ヲ規定スル必要モアリマスカラ、其詳細ハ勅令ニ依リマシテ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」云々ト云フ規定ヲ設ケタルデアリマス、又寺院又ハ佛堂ノ土地ニ係ル所ノ國有財産デアリマシテ、其境内トスル必要アルモノハ、現ニ境内トシテ使用サレテ居ルモノト同ジク、今後モ之ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ貸付スルコトヲ得ル、即チ從來使ッテ居ルモノ、外、土地デアッテ境内ニ必ズアルモノハ之ヲ其用ニ供シテ居ルコトガ出來ルト云フヤウニシテ、而モ斯ノ如キ方法ニ依リマシテ寺院ノ用ニ供シタルモノハ、ソレハ寺院又ハ佛堂ノ之ニ對スル權利義務ノ關係ヲ明カニスル事ニシタルデアリス、第九點ハ國有財産ノ臺帳ニ關スル件デアリマシテ、第二十五條ニ規定シテアリマス、國有財産ニ關スル規定ハ從來甚ダ不備デアリマシテ、各省各別ノ様式ニ依ッテ居リマシテ、其間一定ノ條規ガ無カッタノデアリマス、如何ニモ不完全ナル所ノ臺帳ヲ備ヘテ居ッタノデアリマシテ、遺憾ナガラ從來ノ取扱ハ行届イテ居リマセヌト考ヘマスノデ、今後ハ財産ノ種類ニ應ジテ、ソレハ一定ノ臺帳ヲ備ヘル見込ヲ以テ、其詳細ノ事ハ亦命令ヲ以テ定メル心得デゴザイマス、第十點ハ國有財産ノ總計算書ニ關スル件デアリマス、第二十六條ニ規定シテゴザイマス、現行ノ官有財産管理規則ニ於キマシテハ、各省

大臣ニ於テ毎年其所管ノ官有財産ノ増減異動報告書ヲ調製シ、又十年毎ニ所管ノ官有財産ノ現在目録ヲ調製シテ帝國議會ニ報告スル事ニナツテ居リマス、是ハ皆サンノ毎年御承知ノ事デアリマシテ、此點ニ就キマシテ今回ノ國有財産法案ニ於キマシテハ、二三改正ヲ企ツタノデアリマス、即チ從來官有財産ノ目録増減異動報告書ト云フモノハ、如何ニモ舊式ノ目録式トデモ申シマスルカ、甚ダ近代ノ様式ニ遠ザカッタヤウナモノデアリマス、繁簡宜シキヲ得テ居ラヌヤウナ憾モアリマスカラ、此取調ニ就キマシテ總テ之ヲ計算書トシテ一定ノ様式ヲ具ヘタ計算書ノ形式ニ改メタイ積リデアリマス、ソレカラ從來ノ財産目録増減報告書ト云フモノハ、只今申シマシタ通り各省各別ニ調製致シテ居ツテ之ヲ統一シテ國家全體ノ財産ノ總目録若クハ總増減異動報告ト云フモノガ出來テ居リマセスカラ、此第三條ノ規定ノ趣旨ニ依リマシテ、大藏大臣ガ其總轄事務ヲ管理スル關係上、各省ノ是等ノ計算書ヲ綜合統一致シマシテ、國家全體トシテノ財産ノ狀況ガ一目シテ分ルヤウナ計算書ヲ調製シテ、之ヲ帝國議會ニ報告スル、斯ウ改メタノデアリマス又從來財産目録ハ毎十年ニ一回其現在ノ目録ヲ調製致シテ、而モ其價格ト云フモノハ、最初受入レタ所ノ價格ヲ以テ、何時マデ經テマシテモ之ヲ變更スルト云フコトガナカッタノデアリマスガ、是ハ毎十年ト云フノハ餘リ長キニ失シテ、今日ノ如キ經濟ノ變動ノ實際ニ副ハス憾ミガアリマスカラ、五年位ニ之ヲ短縮致ス方ガ適當デアラウト云フコトヲ以テ、其十年ヲ改メテ五年ト致シ、五年毎ニ現在ノ計算書ヲ作ル、而モ其五年毎ニハ又從來ノ如ク何時マデモ當時ノ受入價デ行クト云フコトヲ止メテ、必ズ増減ノ價格ニ之ヲ改訂シテ、國家財産ノ増減ト云フモノハ一目シテ判ルト云フコトニ致シタイト云フ考ヲ以テ、之ガ規定ヲ書イタノデアリマス、尙ホ此計算書ニ關シマシテ、法制上カラ重要ナル所ノ關係ハ、從來財産目録並ニ増減異動報告書ハ、會計検査院ノ検査ヲ受ケルト云フ規定ガゴザイマセスカラ、政府ニ於テ而モ各省各別ニ調製シタモノヲ其儘内閣デ取總メテ、議會ニ報告ニナツテ居ツタノデアリマス

ガ、之ヲ改メマシテ、今回ハ第二十六條ニ「會計検査院ノ検査ヲ經テ之ヲ帝國議會ニ報告スベシ」ト云フコトニ致シタノデアリマス、之ヲ帝國議會ニ報告スル前ニ、必ズ會計検査院ノ検査ヲ受ケルト云フコトニシタノデアリマス、從來御承知ノ通り會計法ノ定ムル所ニ依リマスレバ、検査院ハ國有財産ノ管理ニ就キマシテ之ヲ検査スルノ權能ヲ無論持ツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ計算書ヲ會計検査院ニ提出スルト云フ手續ニ缺如スル所ガアツタ爲メニ、折角ノ會計検査院ニ定メテアツタ所ノ、検査院ノ國有財産ニ關スル監督權ガ、完全ニ達スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、是ハ從來ノ法則ノ上ニ於テ一ツノ缺點ト考ヘテ、此點ヲ改メタノデアリマス、隨テ今後ハ検査院ノ検査ヲ經テ議會ニ報告致シマスレバ、議會ニ於テ又此報告書ニ基イテ相當ノ御審議ガアル、其先ニ豫メ會計検査院ノ意見ヲ參照サレルト云フコトガアルダラウト思ヒマス、第十一點ト致シマシテ、本法施行ニ關シテノ規定ヲ第二十七條乃至第三十三條ニ設ケタノデアリマス、是ハ實際本法施行ノ際ニ於ケル形式ノ規定デアリマスガ、其要點ヲ擧擧申上ゲマスルト云フト、本法ノ施行期日ハ第二十七條ニ於キマシテ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトニナツテ居リマス、是ハ今後此法案ノ御審議ヲ戴キマシテ、御協賛ノ上ハ成ベク速ニ之ヲ施行シタイノデアリマスガ、之ヲ施行致シマスルニハ、相當ニ之ガ準備期間モ要シマスカラ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトニナツタノデアリマス、大體ノ腹案ト致シマスレバ、大正十一年、詰リ明年四月一日ヨリ之ヲ施行シタイ考デ、此一箇年間ニ總テノ施行ノ勅令其他ノ手續ヲ終リマシテ、一箇年中ニ施行ヲ致シタイ考ヲ有ツテ居ルノデゴザイマス、第廿八條ハ第二十五條及第二十六條ノ規定ハ當分ノ内公共財産ニ付之ヲ適用セズト云フコトガアル、是ハ公共財産、即チ道路デアルトカ、共同河川デアルトカ云フモノニ就キマシテハ、當分ノ間臺帳並ニ計算書ヲ省略スルコトニ致シタノデアリマス、是ハ現今ノ公共財産ノ臺帳トシテ、現在ニ鑑ミマシテ最初カラ直チニ此公共財産マデノ全部完全ナ臺帳ヲ作製スルコトハ、事實ニ於テ非常ニ困難ト思ヒ

マス、將來相當ノ時機ニ達スルマデハ、ソレヲ省略スルコトニ致シマス、併ナガラ主義ト致シマシテハ、公共財産トシテモ臺帳計算書ヲ作ルヲ至當ト認ムルト、本法ハ規定シタルノデアリマス、其次ニ總計算書ノ調製ニ關スル規定デアリマス、是ハ第二十九條ニ規定シタ通りデアリマスガ、總計算書ト云フモノハ、本法施行ノ日ノ屬スル現年度、即チ大正十一年ノ四月一日ヨリ施行スル、十一年度分カラ作リマス、又現在總計算書ノ第一回分ハ、矢張之ヲ本法施行ノ日ノ現在ニ依リマシテ作ルコトニ致シタイ積リデアリマス、其次ニ他ノ法令ト此國有財産法トノ交渉ノ問題關係ヲ規定致シマシタノハ、第三十條並ニ第三十一條デアリマシテ、北海道國有未開地處分法ノ規定ハ、本法ノ規定ニ牴觸スルモノモ多イガ、尙ホ其效力ヲ有スルモノト規定シタノデアリマス、是ハ北海道ノ國有未開地ハ、官有財産管理ノ規程ニ對シテ設ケラレタ所ノ、重大ナル例外ノ問題デアリマス、隨テ同法ノ規定ハ官有財産管理規程ノ系統ニ依ツテ、國有財産法トハ非常ニ違ツタ規定ガゴザイマス、併ナガラ北海道ノ國有未開地處分ハ、未ダ將來ニ於キマシテモ、當分ノ中ハ從前ノ例外ノ規定ニ立ツテ、之ヲ處理スルコトガ寧ロ必要デアラウト存ジマスノデ、必シモ是マデモ國有財産法ノ規定ニ依ツテ全部之ヲ一律ニ律スルコトハ、却テ事ノ實際ニ適合セザル憾ミガアリマスカラ、當分ノ間吾々ハ尙ホ國有財産法ニ牴觸スルモノモ尙ホ例外トシテ認メテ置キタイト考ヘテ居ル、是モ即チ適當ノ時機ニ於テ、北海道ノ國有未開地ナルモノガ、斯ノ如キ原始的ノ時代ヲ終ツテ、一般ノ法制ノ適用ヲシテ差支ナイ場合ニナレバ、一般國有財産法ノ規定ヲ適用スル積リデアリマス、其次ハ國有林野法トノ關係デアリマスガ、國有林野法ハ從來國有林野ニ就キマシテ、法律ヲ以テ設ケマシタ規定デアリマス、一般ノ官有財産法ニ對シマシテハ、例外的ノ規定ダカッタノデアリマス、隨テ今回制定致シマシタ國有財産法トモ、大分牴觸スルモノガアリマスガ、是ハ北海道國有未開地處分ノ規定トハ違ツテ此牴觸スル者ニ對シテハ、大體ニ於テ國有財産法ノ規定ヲ先ヅ適用スル方ガ穩當デアラウ、國有林野

法ニ於テモ、即チ適當ノ時機ニ於テ之ガ改正ヲ必要ト存ジマスガ、差當リ先ヅ國有林野法ノ規定ニ、國有財產法ト正面ヨリ衝突スル所ノ規定ニ付キマシテハ其效力ヲ失ハシムルコトガ必要デアラウト考ヘマスカラ、第三十一條ニ列舉致シマシタ所ノ各條項ハ、國有財產ノ施行ノ日カラ其效力ヲ失フコトニシタ、但シ本法施行前ニ屬スル所ノ國有財產ノ増減異動報告ニ付テハ、是ハ國有財產法施行後ト雖モ、其分ダケハ尙ホ從前通り一應其事務ヲ監督サセタイ、此但書ヲ設ケタノデアリマス、次ニ第三十二條ニ規定致シマシタ「從前ノ法令ニ依リテ爲シタル處分契約其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス」ト云フコトニ致シマシテ、從來ノ法令ニ依リマシタル是等ノ行爲ト雖モ、本法ノ中ニ之ト同様ノ規定ガアレバ矢張り此法律ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト同一ノ效力ヲ有セシムルコトニシタノデアリマス、何レモ是等ハ過渡期ニ屬スル便宜ノ規定デアリマス、次ニ十三條ニ於テ殖民地等ノ關係ヲ規定シテ居リマスガ、朝鮮、臺灣、樺太等ニ於キマシテモ、現在ハ勅令ノ規定ヲ以テ朝鮮、臺灣又ハ樺太ノ官有財產管理規則ト云フモノガ出來テ居リマス、併ナガラ是等ノ地方ニ於ケル官有財產、國有財產ト雖モ、尙ホ一般國有財產法ノ適用ヲ受ケシムルコトガ相當デアリマスカラ、追テ國有財產法ハ朝鮮、臺灣、樺太ニモ施行シタイト考ヘテ居リマス、而モ其土地ガ殖民地トシテ未ダ内地ト全然同一ニ之ヲ律スルコトモ出來ナイ事情モアリマスカラ、本法ヲ是等ノ殖民地ニ適用スル場合ニ於テハ、必要ナル範圍ニ於テハ勅令ヲ以テ一ニ例外ノ規定ヲ設ケル場合ガアラウト思ヒマスカラ、是ハ必要ニ應ジテ勅令ヲ以テ規定ヲ爲シ得ルコトニ豫メ決メテ置キタイト云フ考ヲ以テ、三十三條ヲ規定シタ次第デアリマス、以上大體申上ダチャウナ趣旨ヲ以テ本法ガ出來マシタノデ、之ニ依リマシテ多分當議會ニ於テモ問題トナツテ居リマス、所ノ國有財產ニ關スル根本ノ法制ガ定リマスレバ、之ニ依ッテ將來多大ノ便宜ヲ得ルト思ヒマス、何卒御審議ヲ願ヒマス

○委員長(清水市太郎君) 質問ノアル方ハドウゾ御質問ヲ願ヒマス

○宮古啓三郎君 先ヅ最初ニ御尋致シマスガ、國有財產ノ總計算書デアリマスガ、財產ヲ明記シタモノハ今日出來テ居リマスカ參考書トシテ貰ヘルナラ

○西野政府委員 只今ハ先刻申上ゲマスルヤウニ、官有財產ノ現在目錄ト云フモノハ、前十年ニ出來テ居リマシテ只今ヨリ約九年バカリ前ニ出來マシタモノガ此議會ニ報告ニナツテ居リマス、其外ハ毎年各省ニ於テ其ノ一年間ノ異動報告ヲ致シテ居リマス、全體ヲ網羅致シマシタ現在ノ計算書ハナイノデアリマス、而モ九年前始下十年前ニ屬シマスル所ノ各省ノ官有財產ノ現在目錄ナルモノモ、先刻申上ゲタヤウニ各省別々ニ出來テ居リマスカラ、之ヲ一括シテ直グ御覽ニナルヤウナモノハ今日ハ出來テ居リマセスノデ、只今ノヤウナ御要求ガアリマシテモ、直グ御目ニ掛ケルコトガ出來ナイヤウナ現在ノ實況ニナツテ居リマス、孰レ本法ガ制定ニナリマシテ、劈頭第一ニ只今ノ御話ノ現在總計算書ナルモノヲ第一ニ作ッテ、今後五年毎ニ之ヲ改訂シテ、又毎年其ノ異動報告ヲ致スト云フコトニ致シタイ積リデアリマス

○宮古啓三郎君 國有財產ノ主ナルモノハ國有林野デアラウト思ヒマスガ、其ノ國有林野ニ就テハ矢張本法ヲ適用スルコトハ論ナイ話デアリマスカラ、其規定ニ依ルト國有林野ハ矢張雜種財產ニ屬スルモノヲ除クノ外ハ讓渡ハ出來ヌコトデアアル、雜種財產ニ屬スベキ國有林野ハ第五條ニ依ッテ——第五條ニ規定シテ居ル三ツノ場合ノ以外ニ於テハ讓與スルコトハ出來ヌト云フ規定ニナル譯デアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○西野政府委員 只今ノ御話ノ通りデアリマス  
○宮古啓三郎君 御承知ノ通り國有林野デアルト、今日ノ場合ニ於テハ用存置林ト不用存置林ト云フモノト區別シテ、用存置林ハ國家ガ之ヲ經營スル目的ノ下ニ保存スルコトニ致シテ、不用存置林ハ之ヲ民間ニ拂下ゲルト云フ方針ヲ執ッテ居ル譯デアリマスガ、此ノ法律案ニ依ルト、斯様ナ不用存置林

モ矢張讓與スルコトガ出來ナイト云フコトニナリハセスカト思フガ、其點ニ就テドウ云フ御考デアリマスカ

○西野政府委員 只今ノ御尋ハ讓與ト云フ御話デアリマシタカラ、第五條ノ規定通りト申シマシタガ、若シ讓與ト云フ言葉ハ無償讓與デナクテ、不用存置林ヲ以テ皆ソレ——希望者ニ拂下ゲルト云フ御尋ノ要旨ナラ、私ノ先刻申上ゲタノハ違ッテ居リマス、第五條ノ讓與ト申シマスノハ、無償讓與ノ場合ヲ指シタノデアリマス、其他一般ノ國有財產ヲ相當ノ價額ヲ以テ之ヲ賣却スルト云フ側ニ就テハ、是ハ單リ森林ノミナラズ、一般ノ國有不要地ト雖モ雜種財產ニ屬スルモノデアッテ、政府ガ之ヲ國有スルノ必要ナシト認メマシタモノハ、是ハ森林デモ、普通ノ土地デモ、其他ノ財產デモ、之ヲ相當ノ價額デ賣却スルコトハ、毫モ本法ノ禁ズル所デナイ、是ハ無論出來マス

○宮古啓三郎君 サウシマスルト、此法律案ニアル讓渡ト云フ字ハ、無償讓渡デアッテ、有償讓渡ハ之ニ關係ガナイト云フコトニナリマスカ  
○西野政府委員 第五條ニハ讓與ト書イテアリマス、是ハ讓與デアリマスカラ無償ノ讓渡ノ積リデ出來タノデアリマス

○宮古啓三郎君 サウシマスルト、第四條ハ讓渡ニナツテ居ル第五條ハ讓與トナツテ居ル、サウスルト第五條ノ讓與ト云フノハ無償讓與デ、第四條ノ讓渡ト云フノハ有償モ無償モ入ッテ居ルト云フ、斯ウ云フ御意見デアリマスカ

○西野政府委員 其通りデアリマス、讓渡ノ方ハ第四條ノ讓渡ハ有償、無償ハ廣ク一般ノ讓渡ヲ指シテ居リマス、第五條ノ讓與ト云フノハ特ニ無償讓與ノ場合ダケヲ讓與ト附ケマシタ積リデアリマス  
○宮古啓三郎君 御承知ノ通り讓渡ト云フ字ニ有償讓渡、無償讓渡、矢張ドチラモアル、讓渡ト云フノハサウスルト殆ド贈與ノヤウナ風ニ見エマスガ、此書方デハ其點ニ就テ疑ガ起リハシマセスカ、如何デゴザイマスカ  
○西野政府委員 第八條ニモ「國有財產ノ賣拂讓與又ハ交換ヲ爲シタル場合」ト云フ風ニ書イテアリマ

スガ、是ハ唯本法ノ用例ヲ申上ゲタケデハ例ニナ  
ラヌカ知レマセスガ、國有林野法第十五條「國有林野  
ハ左ノ場合ニ限リ讓與スルコトヲ得」是ハ無償讓渡  
ヲ指シタノデアリマス、一般ノ用例トシテ讓渡ト云  
フコトニ有償無償ノ讓渡ガアリマスガ、讓與ト云  
フ場合ハ普通無償デ與ヘル場合、贈與ニ似テ居ルカ  
モ知レマセスガ、贈與ヨリハ稍々意味ガ廣イカ知レ  
マセスガ、兎ニ角公共團體ニ對シテ無償デ讓與スル  
ト云フ用例ニナツテ居ルカト考ヘマス

○宮古啓三郎君 國有財産ハ雜種財産ヲ除クノ外之  
ヲ讓渡云々ト書イテアツテ、讓渡ト云フノハ有償若ク  
ハ無償ノ讓渡デアアル、斯ウ云フコトデアツテ、國有財  
産ハ讓渡ニ依ツテ有償若クハ無償デ讓渡スル、但シ無  
償讓渡ハ五條ノ場合ニ限ルト云フコトニナルノデア  
リマセウガ、サウスルト場合ニ依ツテ賣拂——或ハ高  
イ値段モアラウ、若クハ安ク賣ツテモ有償デアレバ差  
支ナイト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、サウ  
云フ結果ニナラウト思ヒマスガ、ソレデ宜シイノデ  
スカ、何カソレガ爲メニ折角保存スベキ國家ノ財産  
ヲ隨時賣拂フト云フコトガ出來ル爲メニ、弊害ガア  
ルト云フヤウナコトハアリマセスカ

○西野政府委員 只今御尋ノ趣旨ヲ一寸諒解致シマ  
セヌデシタガ、或ハ斯ウ云フ意味デアツタカト存ジマ  
スガ、詰リ讓與ノ場合ヲ第五條ニ制限シテアル、是ハ  
無償讓與ノ場合デアアル、有償讓與ニ對シテハ何等ノ  
制限ガナイ爲メニ、國家ガ保有スルコトガ必要ナル  
物迄モ賣拂フト云フ弊害ガアリハセスカ

○宮古啓三郎君 其通リ

○西野政府委員 左様ナ御尋デアリマス、是ハ現  
行法ニ於キマシテモ何等ノ制限モナイノデアリマス  
ガ、國家ガ保有スル必要ガアルト云フコトガ、例ヘバ  
森林デアレバ保安林デアルトカ、國土ノ保安上必要  
ナ物ハ無論幾ラ高クテモ賣ルコトハ出來マセス、其  
他法制ノ關係ニ於キマシテ、名勝天然紀念ニ屬スル  
ヤウナ物デ、法制ノ上カラ制限シテ居ルモノハ、國ト  
シテモ法制ノ制限ガアルカラ賣ルコトハ出來マセ  
ヌ、國有財産法ノ第四條ニ於キマシテ、雜種財産ヲ除  
クノ外ハ有償デモ讓渡シテハナラヌト云フノデアリ

マスカラ、雜種財産以外ノ公用財産、公共用財産、營  
林財産ノ讓渡ノ出來ヌコトハ無論デアリマス、唯雜  
種財産ニ對シテハ本法ニ於キマシテ何等制限ガナ  
イ、例ヘバ政府ガ南滿鐵道ノ株式ヲ持ツテ居ル、是ハ  
自ラ法制ノ方デ讓渡モ出來マスガ、其他讓渡シ得ラ  
レルヤウナ關係ノ物ニ就キマシテ、相當ナ價格デ讓  
渡スルト云フ事ハ、本法ニ於テ差支ナイノデアリマ  
ス、法制上其他ノ關係デ讓渡ヲスルコトガ出來ナイ  
ヤウナ關係デモアレバ、是ハ別問題デアリマスガ、單  
ニ國ガ收益ノ目的ノミニ保有シテ居ル物ニ就キマシ  
テハ、相當ナ價格デ之ヲ賣却スルコトハ……無論價  
格ニ依リマスガ、相當ノ價格ナラバ國ノ財産上損失  
ヲ來タス所以デモアリマセスシ、是ハ國有財産法デ  
ハ何等制限ヲ持ツテ居リマセス、何カ他ノ目的カラ國  
防ノ關係或ハ風俗上教育上ノ關係デアルトカ、特殊  
ノ關係ガゴザイマスレバ、其方デ制限サレルコト、  
思ヒマス

○宮古啓三郎君 國有ノ船舶ハ第一條ノ何レニ這入  
リマス

○西野政府委員 船舶モ種類ニ依ルト思ヒマスガ、  
例ヘバ軍艦ノヤウナ物ハ公用財産デ、是ハ勅令ヲ以  
テ規定致ス積リデアリマスガ、軍艦ノ如キハ公用財  
産デアリマス、又全然國ガ公用ニ供シテ居ラヌ不用  
ノ財産——不用ト申スト語弊ガアリマスガ、公用又  
ハ公共用ニ使ツテ居ラヌデ持ツテ居ル船舶デアルトカ  
云フヤウナモノハ、是ハ民間ニ貸下ゲテ一定ノ使用  
料ヲ徵收スルト云フヤウナモノニ就キマシテハ、雜  
種財産ニ屬スルモノトナリマス

○宮古啓三郎君 第一條デ謂フト國有ノ動産ノ中ニ  
入ルノデスカ

○西野政府委員 其通リデアリマス

○伊藤廣幾君 私モ御尋ヲシテ見タイト思ヒマス  
ガ、此國有財産法ヲ制定致シマスニ就キマシテ、之ニ  
關聯シテ御尋致シタイノハ、我國ニ於ケル土地ノ利  
用ハ、御案内ノ如ク世界ニ於テモ最モ利用ノ程度ノ  
低イコトニナツテ居リマスノデ、蓋シ其割合ハ今統計  
ヲ持ツテ居リマセスカラ明カニハ分リマセスガ、面積  
ノ約二割以內ト思ツテ居リマス、然ルニ外國殊ニ白耳

義、或ハ佛蘭西、普魯西等ノ方面ノ土地ノ利用ノ程度  
ヲ見マス、五割以上ニナツテ居ルヤウデアリマス、  
而シテ我國ハ殆ド面積ノ半バハ森林デゴザイマス  
カ、將來ニ於キマシテ土地ノ利用ノ上カラ申シマシ  
テ、之ガ利用程度ノ増加ヲ圖ルト云フコトノ何カ御  
計畫ガ政府ニアリハセスカ、其計畫ガアレバ承リタ  
イト思ヒマス、同時ニ此第二條ノ規定ニ營林財産ト  
云フモノガ限定サレテ居リマスガ、一度營林財産ニ  
編入セラレマス、第四條ニ於テ之ヲ讓渡又ハ私權  
ノ設定ヲ許サヌコトニナル、而シマスレバ此營林財  
産ノ面積ガ確定シテ、其利用方法ガ定マツタ以上ニ於  
キマシテハ、將來我國ノ土地ノ利用ニ就テ計畫ガア  
リマシタ際ニ於テ——其利用ト云フノハ蓋シ森林ヲ  
耕地ニ編入スルト云フ順序ニナラウト思ヒマスガ、  
然ルニ森林ヲ營林財産ニ確定シタ以上、之ヲ動カス  
コトガ出來ナイト云フコトハナリハセスカト云フ一  
ノ懸念ヲ生ズルノデアリマス、ソレ等ノ關係ハドウ  
云フコトニナルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイト思ヒ  
マス、御案内ノ如ク利用ノ面積即チ耕地トシテ利用  
スル所ノ面積ガ少イト云フコトハ、是ハ我國ニ於テ  
最モ遺憾ナル點デアリマシテ、將來ハ如何ナル程度  
マデ之ヲ進メナケレバナラヌト云フコトニ就テハ、  
私共未ダ確タル考ハ持ツテ居リマセスガ、兎ニ角人口  
ノ増加ニ伴ツテ、食糧増殖ノ必要アリトスレバ、ドウ  
シテモ農業ニ使フ所ノ土地ヲ増加サセマシテ、サウ  
シテ森林其他ノ不生産的ノ土地ハ減少サセルト云フ  
コトノ方針ニ出デナケレバナラヌカト考ヘルノデア  
リマス、政府ニ於キマシテハ國有財産法ヲ制定ヲ致  
シマス上ニ於テ、此點ニ就テ何等カノ御計畫、何等カ  
ノ方策ヲ御立ヲニナツテ居ルナト云フコトヲ、併セテ  
御尋致シタイト思フノデアリマス、要スル所私ノ質  
問ハ、第一ニハ土地ノ利用ニ對スル所ノ御計畫ヲ承  
リタイノト、第二ニハ營林財産ニ一度編入シタ以上  
ハ讓渡ガ出來ナイト云フコトニナツテ居ルガ、之ヲ農  
業地ニ編入スル場合ニ於テハ、ドウ云フ方法デ編入  
ナサルカ、此二點ヲ承リタイト云フノガ要旨デアリ  
マス

○西野政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマス、第一

ノ問題トシテ我國ノ土地ノ利用ノ率ガ、諸外國ニ比シテ甚ダ劣テ居ルヤウデアルト云フ御話ハ、私モ或ハ左様カト考ヘマス、現在日本ノ國有地ニ對シマシテノ收益ノ工合ハ、此處ニ詳シイ統計ヲ持ッテ居リマセスカラ、具體的ニ申上ゲルコトハ出來マセスガ、餘リハ多イトモ平素考ヘテモ居リマセス、將來國有財產ノ利用方法ヲ一層改善致シマシテ、國有財產ヨリ生ズル所ノ收益ヲ多クシヤウト云フコトハ、抑々此國有財產法ノ制定ニ至リマシタル本タル、官有財產調査會等ノ設ケラレタル主ナル原因ノ一ツデアリマシテ、此點ニ就キマシテハ、當議會等ニ於キマシテモ豫テ御議論ノアツタ點デアリマス、吾々モ亦大ニ御同感ヲ表シテ居ルモノデアリマス、即チ將來國有財產ノ利用ヲ十分ニ全ウシテ、成ベク之ヨリ生ズル所ノ收益ヲ多クシテ、國家財政ノ上ニ寄與スル所アラントスルコトガ、或意味ニ於テハ——直接デアリマセスガ、間接ニハ此國有財產法ノ制定ヲ促シタル原因ト申スコトガ出來ルノデアリマシテ、無論此法案ヲ制定致スニ就キマシテハ、是等ノ事ニモ考及ボシ、是等ノ希望ヲ以テ之ヲ制定致シタ次第デアリマス、併ナガラ如何ニスレバ國有財產ノ利用ヲ増進シ得ルカト云フ具體的ノ方法ニ就キマシテハ、其方策ヲ以テ此國有財產法ノ立案シタト云フ譯デハナイノデアリマスカラ、是ハ今後政府ニ於キマシテモ研究シ、又帝國議會等ニ於キマシテハ十分御研究ヲ願ヒマシテ、將來著々其利用方法ヲ講ジテ行カナケレバナルマイト考ヘテ居リマス、大體ニ於キマシテ利用率ヲ高メナケレバナラスト云フコトハ無論考ヘテ居リマスガ、然ラバドウ云フ風ニスルコトガ最も利用率ヲ良クスル所以カト云フコトハ、目下精々調査中ニ屬シテ居ルコトデアリマシテ、之ニ對シテ一定ノ結論ヲ得ルマデニハ未ダ達シテ居ラスノデアリマス、而シテ日本ノ將來ノ國策トシテ、國有林野ノヤウナモノヲ拓イテ、益々耕地ヲ多クスルコトガ必要デアルト云フ御議論ハ、是ハ食糧問題ヲ解決スルニ就キマシテモ、十分攻究スベキ問題ト考ヘマス、併シナガラ此點ハ一般ノ國有財產ノ管理方法ト申シマス事ヨリハ、寧ロソレヲ超越シマシタ所ノ全體ノ國策

ニ關係スル事ト存ジマス、國有財產法其モノ、制定ノ目的ハ、國有財產ト云フモノヲ如何ニ管理シテ參ルカト云フコトニ在ルノデアリマシテ、是ハ謂ハ、形式的法制デアリマス、隨テドレヲドウ云フ風ニ利用シヤウ、之ヲ經濟的ニドウ云フ風ニ利用シヤウト云フコトハ、自ラ他ノ見地ヨリ之ヲ考ヘ、又他ノ方法ヲ以テ之ヲ指定シナケレバナラヌノデアリマシテ、國有財產法ソレ自體ハ——國有財產ノ利用ヲ良クシヤウト云フコトガ、無論終局ノ目的デアリマスガ、國有財產法ソレ自身ニ直接規定スル所ノ事柄ハ、管理ノ方法ヲ形式的ニ規定スルコト云フコトニナツテ居ルニ過ギナイノデアリマシテ、隨テ其等ノ點ニ就テハ、何等觸レテ居ラスノデアリマス、將來或ハ食糧問題ノ解決ノ上ニ見マシタナラバ、森林ヲ開發シテ益々耕作地ヲ多クスルコト云フコトモ一ノ方策デアリマセウ、或ハ又林政ノ上カラ見マシタナラバ、今日原野トナツテ居ル所ニ相當樹ヲ植エテ、森林ノ經營ヲ全ウシタイト云フコトモアリマセウ、尙ホ林野ニ對スル林政問題ニ觸レマスル事ニ就キマシテハ、御希望ガゴザイマスレバ、農商務當局ノ出席ヲ申シマシテ、御答辯ヲ致スコトニシタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二ノ問題トシテ、一旦營林財產トシテ編入シタルモノハ、將來如何ナル場合ニモ之ヲ解除スルコトガ出來ナイヤウナコトニナリハシナイカト云フ御心配ガ第二點デアッタヤウニ思ヒマスガ、其點ニ就キマシテハ、本法案ハ左様ナ組織ニハナツテ居ラスノデアリマス、即チ營林財產トシテ現ニ國ニ於テ森林經營ノ目的ニ供シテ居リマスルモノ、若クハ供スルモノト決定シテ營林財產ニ編入サレテ居リマスル間ハ、即チ公共用財產、公用財產ト相列ンデ、第四ノ所謂雜種財產以外ニナリマスカラ、是ハ讓渡致スコトハ出來ナイノデアリマスガ、國ガ一旦營林財產ニ編入致シマシテモ、是ハ別に要存置林トシテ之ヲ國ガ保有スル必要ガナイ、寧ロ開放シテ之ヲ開墾サセテ耕作サセルコトガ必要デアルト云フコトヲ認メレバ、直チニ其方法ヲ執リマシテ、營林財產カラ削除スレバ、雜種財產ニ編入スルコトモ出來ルノデアリマス、此法案ノ趣旨ハ左様ニナツテ居ルノデアリマ

ス、何時デモ必要ニ應ジマシテ當局ガ之ヲ解除スレバ、是ガ雜種財產ニナツテ讓渡スルコトモ出來ルコトニナルノデアリマス

○竹上藤次郎君 私ハ第一條ニアリマスル權利ト云フノハ、ドウ云フ事ヲ意味スルノデアリマスカ、簡單ニ御説明ヲ願ヒタイ

○西野政府委員 是ハ前刻一寸申上ゲマシタヤウニ、例ヘバ不動產ニ關シマシタ權利デアリマスレバ、地上權ナリ、地役權ナリ、永小作權ナリ、斯ウ云フモノガ不動產ニ關シタ權利デアリマス、ソレカラ動產ニ就テノ權利ト申シマス——イヤハ動產トカ不動產トカ申シマス、却テ誤解ヲ招ク虞デアリマスカラ、總體ニ申シマス、今言フ地上權デアルトカ、地役權デアルトカ、漁業權デアルトカ、礦業權デアルトカ、ソレカラ又合資會社デアリマスレバ、持分デアルトカ、株式會社デアレバ、株式デスナ、例ヘバ政府ガ南滿洲鐵道株式會社ノ株式ヲ持ッテ居レバ、ソレハ國有ノ權利デアル、是モ本法ニ於テ直接ニハ國有財產ノ中ニ這入りマセスケレドモ、其等ノ重要ナル國ノ動產並ニ權利ハ、勅令ヲ以テ國有財產ニ這入ル積リデアリマス、其勅令ヲ以テ制定シタ曉ニハ、例ヘバ南滿洲鐵道ノ政府ノ持株ハ、國有ノ權利トシテ國有財產ニ入ルノデアリマス、或ハ臺灣銀行ノ株式デアルトカ、其他政府ノ持ッテ居リマス株式、サウ云フヤウナモノヲ指ス積リデアリマス、權利ト云フコトニ

○竹上藤次郎君 今株式ハ權利デアルト云フ御説明デアリマスガソレハ當然動產ニ屬スルモノデセウ、動產及權利ト書イテアルノダカラ、當然ハ動產ニ屬スル、株式ガ權利デアルト云フヤウナ事ハ、少シドウモサウ云フ事ガ言ヒ得ラレルノデスカ

○西野政府委員 ソレハ大分民法上ノ議論ニモ入ルノデアリマスガ、或ル意味ニ於キマシテハ株式モ動產トシテ宜イカモ知レマセスケレドモ、株式ノ如キ、持分ノ如キハ、殊ニ持分ノ如キハ之ヲ動產ト申シマスコトハ如何デアリマスカ、民法ノ規定カラ申シマスレバ、國ノ持分ト云フヤウナモノハ民法第何條デシタカ

○竹上藤次郎君 モウ少シ民法ト云フモノヲ明カニ規定スル氣ハナイカト云フノ御尋シタイノデア  
ル、次ニ第二十四條寺院ノ土地デアリマスガ、是ハ甚  
ダ疑問ニナツテ居リマス、明治政府ガ出來マシテ以來  
請願書モ澤山出テ、衆議院ノ如キハ四回程モ通過ヲ  
シテ居ル、又寺院ニ於キマシテ——果シテ寺院ガ私  
有地トシテ持ツテ居ルモノカ、或ハ官有地トシテ持  
ツテ居ルモノデアアルカト云フコトガ、甚ダ疑問デア  
ル、明治政府ガ出來マシテ、始メテ明治三年十二月ニ  
太政官公布ノ法律ニ依リマシテ、斯ウ云フコトガ書  
イテアル、今般社寺領地現在ノ境内ヲ除クノ外一般  
上地被仰付「斯ウ書イテアル、此文句ヲ見マスルト、  
明カニ一般境内ヲ除クノ外ノモノハ、上地仰付ラレ  
ル、其境内ト云フモノハ、寺院ノ所有デアルト云フコ  
トニ一旦認メテ置イテ、又明治八年ノ六月ニ地租改  
正局達乙第四號訓令ヲ以チマシテ、強制的ニ其全部  
ヲ殆ト上地セシメテ居ルト云フヤウナ次第デアリマ  
ス、ソレガ爲ニ殆ト全部官有地ニナツテシマツタ、ソレ  
カラ又明治十一年ニ内務省乙四十一號ノ達ヲ以テ堂  
宇敷地ヲ區劃シタル現境内ノミ出願社寺ニ限り別ニ  
出願期限ヲ定メズシテ、無償下渡ヲ實行シテ居リマ  
ス、併ナガラ又明治二十三年以後斷然之ヲ中止シテ  
シマツタ、其結果明治カラ大正ニ移ル——デヤナイ維  
新前後ニ於キマシテ寺ハ官有ノモノデアアルカ、寺自  
身ノ人格ヲ認メテ、私有地トスベキモノデアアルカト  
云フコトガ、甚ダ疑問トナツテ居ル、今度ノ第二十四  
條ヲ見マスルト明カニ、無償デ——無償デスカ——

轉料ヲ貰フテ、土地代ヲ貰ハナイ爲メニ其寺ハ殆ト廢  
寺ニ歸スルト云フヤウナコトモ出來ルヤウデアアル、  
現ニ大分騒イデ居ルヤウデアリマス、何時モ衆議  
院ノ方デハ請願ハ四回程モ通過ツテ居リマスガ、貴族院  
ノ方デハ何時モ行儀シデ居リマス、斯ウ云フ場合ハ  
寧ロ、ソレヲバ無償下付スル意思アリヤ否ヤト云  
フコトヲ御尋致シマス

○河本政府委員 是ハ無論明治初年カラ國有デア  
ルト云フ風ニ考ヘラレテ居ツタ、又政府モサウ云フ風ナ  
コトニサレテ居ツタ者ト考ヘマス、即チ寺院——總テ  
ノ寺院デアアリマセスガ、現ニ其敷地ガ國有トナツ  
テ居ル所ノ寺院ニ於キマシテハ、是ハ初メカラ國有  
デアッタノデアリマシテ、ソレヲ上地セシメルト云フ  
ノハ大名ノ御城ヲ上地セシメルト同ジヤウニ、元來  
國有デアアル所ノ土地ヲ其寺院ガ領シテ居ツタカラ、  
ソレヲ上地セシメルノデアリマシテ、別ニ所有權ヲ  
取上グルノデハナク、其知行ヲ取上グルト云フ趣旨  
デアッタノデアリマス、サウシテ是等ノ處置ニ就  
テハソレガ間違ッテ居ラウトモドウデアラウトモ、明  
治初年カラ國有地トシテ取扱ツテ居ル、明治初年以來  
國有地トシテ取扱ツテ來タト云フコトニ就テハ、少シ  
モ疑アリマセス

無償デ貸與ヘルト云フコトガ書イテアリマスルガ、  
此明治政府ガ出來マシタ當時ノ狀態デアリマスルト  
官有地デハナクシテ全ク私有地デアルト云フヤウナ  
此時ニ規定ガアリマス、若シ左様ナモノデアアルナラ  
バ、無償デ今度貸與スルト云フヨリモ、寧ロ政府ハ此  
際ニ無償デ下付シテ遺ツタラドウカ、政府ニハ其意思  
ガナイノデアリマスガ、ソレヲ御尋致シタイト思ヒ  
マス、又都市計畫ノ如キ問題ガ起ツテ參リマシテ、  
道路ナンカニ掛リマスルヤウナトキニハ、堂宇モ潰  
シテ掛ルヤウデアリマスガ、道路ヲ真中ヲ打貫カレ  
タガ爲メニ、其寺ハ遂ニ僅カナ金デ——僅カナ移

○西野政府委員 是ハ此法案ノ大體ニ就キマシテモ  
大分政府モ考究ヲ致シマシタ問題デアリマスルガ、  
此提案ヲ致シマシタノハ、結局只今御尋ノ如ク之ヲ  
此際寺院又ハ佛堂ニ下付スルト云フヨリモ、此法案  
ノ規定ノ方ガ適當デアラウト云フ考ヲ以チマシテ、  
提出シタノデアリマス、詰リ今日デハ本條下付ス  
ルト云フコトハナイト考ヘタノデアアル、管理關係ニ  
就キマシテハ、御質問ガナイヤウデアリマスルガ、是  
ハ無償下付スルト云フコトニ、管理關係ハ此法律  
デ決メテ置キマス、無償デ之ヲ貸付クテ居ルノデ、貸  
付ケル期間モ何モナイノデアアル、是ハ何ヨリモ安全  
デアアル、社寺カラ申セバ國有地ナルガ故ニ、之ニ對シ  
テ別ニ租稅ヲ拂フ譯デモナイ、永久ニ無償デ使フト  
云フコトハ、此上ニ有難イコトハナイト私共ハ考ヘ  
テ居ル、寧ロ之ヲ寺院ニ交付シテ其貴重ナル財産ヲ  
或ハ失フガ如キ虞アラシムルヨリハ、穩健安全ナル  
方法デアラウト考ヘテ居リマス

○宮古啓三郎君 實ハ國有林野ハ國有財産ノ中デハ  
主ナルモノデアツテ、之ニ關スル問題ガ二番多イ譯  
デアリマスカラ、是ハ農商務當局ノ方ニ御尋スル方  
ガ至當デアアルト思ヒマシテ、只今迄御尋シナカタノ  
デアリマスガ、今御尋ガアリマシタ寺院佛堂ノ境内  
地ノ問題ニ就キマシテ、少シ伺ヒタイト思ヒマス、是  
ハ多クハ農商務省ノ所管デアリマスガ、併ナガラ必  
ズシモ農商務所管デナイモノモアル、内務省ニ屬ス  
ルモノモアリマス、寺院佛堂ノ境内地ハ只今政府委  
員ノ御答辯モアリマシタケレドモ、是ハ私ノ方ノ考

○竹上藤次郎君 其寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ——  
維持費ヲ得ル目的ヲ以テ、田畑等ニシマシタヤウナ  
場合ハ、當局ハドンナ考ヲ以テ居ラレルノデアリマ  
スカ、今迄規定ガアリマスガ、ソレニ對シテ——ソレ

○竹上藤次郎君 無償デ貸與ヘルコトハ、ソレニ何  
カ條件ヲ附ケテ、其私有ヲ限定スル譯デヤナイノデ  
アリマスガ

○西野政府委員 是ハ元來寺院若クハ佛堂ノ其使用  
方法ガ一定ノ規矩準繩ヲ離レテハ善クナイト考ヘテ  
居リマス、ソレデ勅令ニ定ムルト云フコトニシテ、相  
當ノ取締リヲ致スノデアリマス、勅令ノ規定ヲ以テ  
之ガ相當ノ取締リヲ致ス考デアリマス、全然無條件ニ  
ドンナ使用方法ヲ致シテモ宜シイト云フ譯デヤナ  
イ、サウシナケレバ此目的ニ反スルモノト思ヒマス

○竹上藤次郎君 其寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ——  
維持費ヲ得ル目的ヲ以テ、田畑等ニシマシタヤウナ  
場合ハ、當局ハドンナ考ヲ以テ居ラレルノデアリマ  
スカ、今迄規定ガアリマスガ、ソレニ對シテ——ソレ

○竹上藤次郎君 其寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ——  
維持費ヲ得ル目的ヲ以テ、田畑等ニシマシタヤウナ  
場合ハ、當局ハドンナ考ヲ以テ居ラレルノデアリマ  
スカ、今迄規定ガアリマスガ、ソレニ對シテ——ソレ

○竹上藤次郎君 其寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ——  
維持費ヲ得ル目的ヲ以テ、田畑等ニシマシタヤウナ  
場合ハ、當局ハドンナ考ヲ以テ居ラレルノデアリマ  
スカ、今迄規定ガアリマスガ、ソレニ對シテ——ソレ

○竹上藤次郎君 其寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ——  
維持費ヲ得ル目的ヲ以テ、田畑等ニシマシタヤウナ  
場合ハ、當局ハドンナ考ヲ以テ居ラレルノデアリマ  
スカ、今迄規定ガアリマスガ、ソレニ對シテ——ソレ

○竹上藤次郎君 其寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ——  
維持費ヲ得ル目的ヲ以テ、田畑等ニシマシタヤウナ  
場合ハ、當局ハドンナ考ヲ以テ居ラレルノデアリマ  
スカ、今迄規定ガアリマスガ、ソレニ對シテ——ソレ

○竹上藤次郎君 其寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ——  
維持費ヲ得ル目的ヲ以テ、田畑等ニシマシタヤウナ  
場合ハ、當局ハドンナ考ヲ以テ居ラレルノデアリマ  
スカ、今迄規定ガアリマスガ、ソレニ對シテ——ソレ

ト考ガ違ッテ居ルノデアッテ、寺院佛堂ノ境内地ナルモノハ、元來其寺院佛堂ノ所有地デアッタト云フコトハ認メラレテ居リマシタ、ソレヲ明治ニナツテ參リマシテカラ、コイツヲ上地セシメタルデアッテ、其上地セシメタルハ畢竟大名ノ土地ヲ上地サセタト同ジ趣意ニ出タモノデアリマセウケレドモ、寺院ノ關係ハ必ズシモ大名ノ領地ノ關係ト全然同一デハアリマセデ、大キナ寺院ノ境内地ナルモノハ、其寺院ノ所有デアッタノデアアル、是ハ諸大名トカ若クハ幕府カラ贈與サレタモノガ多イノデアアル、所謂御朱印地ト云フヤツハ即チソレデアアルノデアッテ、此御朱印地ト云フモノニ就テハ、農商務省デ下戻處分ヲスルトキニ於テハ之ヲ却下シタルデアリマス、然ル所之ニ對シテ行政訴訟ガ起リマシテ、行政裁判所ニ於テハ最初ノ中ハ之ヲ其寺院、神社等ノ所有ト認メマセデ、矢張農商務省ト同ジ處分ヲシテ却下ヲ致シタルデアアルガ、所ガ段々之ニ對シテ研究ヲ致シマシテ、其研究シタ結果御朱印地ハ其神社若クハ寺院ノ所有デアアルト云フコトヲ認メマシテ、其モノハ之ヲ神社若クハ寺院ニ下付スルノガ至當デアアル、下戻スノガ至當デアアルト云フコトデ、下戻ノ判決ヲ致シタルデアリマス、其下戻ノ判決ヲ致シタ以後ハ、行政訴訟ニ於キマシテハ、矢張下戻ニナリ來タノデアリマス、ソレガ爲メニ寺院神社ノ境内地ナルモノガ非常ニ區々ナル結果ヲ來シタルデアアルガ、幸ニシテ農商務省ノ處分ニ對シテ行政訴訟ヲ起シタル者デ、大分其判決ニ依ッテ下戻サレタモノガ出來マシタ、例ヘバ延曆寺ノ如キハソレデアリマス、下戻ニナツテ延曆寺ノ所有ニナツテ居ル、其外ニモ澤山アルガ、併ナガラ行政訴訟ノ下戻ト云フ判決例ヲ作リマス前ニ、處分サレタモノガ非常ニ多イ、其方ガ寧ロ多イ、サウ云フモノハ何レモ不幸ニシテ却下サレテ居ルデアリマスカラ、神社若クハ寺院ノ境内地ナルモノハ、下戻ニナツタノモアルシ、下戻ニナラヌノモアル、其神社若クハ寺院ニ依ッテ色ニ違ッテ居ルト云フ結果ヲ今日ハ見テ居ルノデアリマス、ソレガ爲メニ實ハ議會ニモ屢々請願モ出、法律案モ衆議院ヲ通過スルト云フヤウナコトニ相成ッタノデアリマシテ、即チ行政裁判ノ勝訴ヲ得

テ下戻ニナツタト同ジヤウナ處分ニ、總テノ神社若クハ寺院ノ境内地ヲ致スヤウニシヤウトシタルデアリマスガ、不幸ニシテ今日迄其法律ハ制定サル、ニ至ラナカッタノデアリマス、所ガ今申シマシタ通りニ、今日デハ幸ナル神社寺院モ、不幸ナル神社寺院モアルト云フ結果ニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ一樣ニ下戻ノ處分若クハ下付ノ處分ヲスレバ先ヅ宜カラウト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ何カ政府ノ方デ御研究ガアツテ、サウ云フモノヲ制定シタガ宜イト云フ意見ガナカッタノデアアルカ、之ニ對シテ研究モシナカッタノデアアルカ、サウ云フ意思ハナカッタノデアアルカト云フコトヲ御伺致シタイノデアリマス、成程此法律ニ於テハ無償デ貸付スルト云フノデアアルカラ、結果ニ於テハ大シタ違ヒハアリマセスカ知レマセスガ、併ナガラ所有權ガ附クト附カストノ相違ハ確カニアリマスカラ、ソレニ對スル御意見ガアレバ承リタイト思フノデアリマス、此質問ハ農商務當局ノ方ヘスルガ適切デアアルカモ知レマセスガ、大藏省ノ方デ差支ガナイナラバ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○竹上藤次郎君 只今明治初年ニ於キマシテ政府ハ國有ト認メタト、明ニ斷定ヲ政府委員ハ御下シナリマシタガ、是モ吾々ハ餘程研究ヲシテ見ナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、ソレハ大名知行ト云フ様ナモノデハナクシテ、唯ダ其土地ノ利益收入ヲ目的トスル爲メデ、領地トシテ與ヘラレタノデハナイ、ソレハ、明治十一年內務省乙四十一號達ヲ以テ、堂宇敷地ヲ區劃シタル現境内ノミ出願社寺ニ限り別ニ期限ヲ設ケズシテ無代デ下渡シテ居ルノデアアル、是ガ明治二十三年ニ至ッテ初メテ調査ノ結果私有地デアッタト云フヤウナモノダケ返シタルデアアル、果シテ全部ガサウ云フ風デアッタカドウカト云フコトニ就テハ、吾々モ調査未了デアリマスガ、兎ニ角大分疑問ガ生ズルノデアアル、大名ガ知行ヲ領シテ居ッタト云フ意味トハ大分違ッテ居ルヤウデアリマス、大名ガ地行ヲ領シテ居ッタノハ所謂其利益ノ爲メデアアルガ、寺院ノ方ハサウデナクシテ特ニ境内——其上カラ收入ヲ得ルト云フ目的デナクシテ、領地デアッタヤウニ考ヘテ

居リマスガ、是ハ私共ハ尙ホ研究ノ餘地ノアルコトト思ッテ居リマスカラ、政府ニ於テモ的確ニ斷定ヲ下シ得ルマデノ御調査ヲ願ヒタイト思ヒマス、左様ニ私ハ希望致シテ置キマス

○委員長(清水市太郎君) 一寸私カラモ其點ニ就テ御尋シテ見タイト思ヒマス、先刻竹上君ガ西野政府委員ニ對シテ御尋ハ「貸付」トアルノヲ「下付」トスル譯ニ行カヌカト云フ事ノヤウデアッタ、ソレニ對シテ政府ニ於テ寧ロ下付シタルドウカト云フ様ナ意見モアッタト云フ御答ノヤウニ聽イテ居リマシタガ、然ルニ河本政府委員ハ斷然國有ト看做シテ居ルト云フ御答デアリマスガ、私ハ西野政府委員ノ言ハレタヤウニ、政府ニ於テ案ヲ作ルトキニ「貸付」トアルノヲ「下付」トシタル宜イデハナイカト云フコトノヤウニ思ヒマスガ、サウスルト河本政府委員ノ言ハレルヤウニ、斷ジテ國有ト看做スト云フコトデハナカラウト思ヒマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

○河本政府委員 私人申シマシタ事ニ就テ少シ誤解ガアルヤウデアリマス、現ニ明治初年以來——只今國有デアアル所ノ寺院佛堂ノ境内地ハ、明治初年以來カラ國有トシテ取扱ウテ居ルト云フコトヲ申シマシタノデ、國有トシテ取扱ウテ居ルモノヲ、下付スルカセスカト云フコトハ別問題デアリマス、又若シ國有デナイ、寺ノ物デアアルトスレバ、今更下付スルモ下付シナイモナイコトデアリマシテ、此寺院又ハ佛堂ノ用ニ供スル雜種財産ト申シマスノハ、即チ國有地デアアルト云フコトヲ前提トシテノ規定デアリマシテ、其事柄ニ就テハ明治初年ノ遺方ニ依ッテ多少間違ッテ取上ゲタモノモアッタト思ヒマスガ、併ナガラ今現ニ使ッテ居リマスル國有地デアリ、寺院佛堂ノ境内地ト云フモノハ、是レハソレ以來現今マデ國有トシテ取扱ッテ居ルト云フ意味デ申シタルデアリマス

○澤來太郎君 只今宮古君並ニ竹上君ノ御質問ニナリマシタ事項ハ、實際ニ於テ多クハ農商務省管理ニ屬シテ居リマスカラ、丁度此機會ニ於テ農商務省ノ政府委員ノ御出席ヲ求メマシテ、吾々ハ參考トシテ尙ホ質問ヲ試ミタイト思ヒマスガ、ドウカ農商務ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒマス

○委員長(清水市太郎君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ澤君ノ御意見ノ農商務省ノ政府委員ヲ御呼ビニナルコトニ致シマセウカ

(賛成ト呼ブ者アリ)

○宮古啓三郎君 私モ農商務當局ノ御意見ヲ聽キタイト思ヒマスカラ、更ニ大藏省ノ方ヘハ質問致シマセヌ、又國務大臣若クハ次官デモ宜ウゴザイマス、出席ヲ願ヒタイ

○澤來太郎君 私ハ必シモ大臣次官ト云フ比較的餘リ委シクナイ人ヲ要サナイ、成ベク委シイ人ヲ

○委員長(清水市太郎君) ソレデハ山林局長デモ

○西野政府委員 先刻委員長カラノ御話ノ中ニ、先程私ノ申上ゲタ趣旨ヲ、政府部内ニモ後ニ寺院ニ下付シタラ宜カラウト云フ意見モアッタ云々ト云フヤウニ、御聽取リノヤウデアリマシタガ、私ノ申上ゲタノハ左様ナ意味デハナカッタデアリマス、政府ノ方ニサウ云フ意見ガアッタト云フコトヲ申シタノデハアリマセヌ、本案審議ノ際ニ無償デ寺院ニ下付シタ貴ヒタイト云フコトハ、從來寺院側カラ度々希望ガアリマスカラ、サウ云フコトノ利害得失ニ就テ相當研究シタ結果、之ヲ無償デ貸付スルモノト看做スト云フ此法案ノ趣旨ガ、適當デアラウト云フコトヲ申シタノデアリマシテ、必シモサウ云フ意見ガ政府ニアッタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマセヌカラ、此事ヲ一言申上ゲテ置キマス

○宮古啓三郎君 國有財産ハ是カラ後ニ一切讓渡ハ出來スト云フコトニナルト、將來不都合ナコトガアリハシナイカ、ソレカラ國有財産ヲ賣拂ハントスルトキニハ、政府ガ隨意ニ雜種財産ノ中ニ組替エテ、之ヲ賣拂フト云フコトニシテ 法律ニハ讓渡スルコトガ出來ナイトアリマスガ、併ナガラハ唯々組替ダケノ關係デアリマスカラ、何時デモ雜種財産ニ組替エテ、之ヲ處分スルコトハ差支ナイト云フコトニシタラ、讓渡ハ一切出來スト云フ目的ガ達セラレラダラウト思ヒマスガ、其點ニ就テノ政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○西野政府委員 國有財産ハ一切讓渡ヲ致サスト云フ趣旨ヲ以テ決メタ譯デハアリマセヌ、第四條ニ御

覽ノ通り雜種財産ヲ除ク外ハ之ヲ讓渡シ云々ト規定シテアリマシテ、或ル意味ニ於テハ法理上殆ド言フヲ待タヌ位ナコトデアリマス、現ニ公共ノ用ニ供シテ居ル財産、若クハ營利財産トシテ國ガ使ッテ居ルヤウナモノヲ讓渡スルコトハ宜シクナイノデ、是ハ舊來ノ財産管理規則ニ規定ガアリマスガ、是ハ規定ニ左様ナ事ガ無クテモ、當然ノ事デアラウト思ヒマス、ソレデ何時デモ雜種財産ニ組替エレバ賣渡サレルト云フコトハ、言葉ノ上カラハサウ思ハレマスケレドモ——先刻營利財産ニ就テ御尋ガアリマシテ、組合ナドニ未來永劫讓渡ガ出來ストニナツテモ困ルト云フヤウナコトデアリマシタガ、是ハ國家ガ公益ノ立場カラ考ヘマシテ、國ガ從來國有ノ森林トシテ之ヲ保有シ經營スルガ適當ナリト認メタモノガ、周圍ノ事情ノ變化ノ爲ニ、國ノ方針ガ變タ場合ニ於テハ之ヲ雜種財産ニ編入スル、強テ雜種財産ニ繰入レルノデアリマセヌガ、營利財産トシテ保護スルコトヲ國家ガ止メルナラバ、雜種財産ニナルノデアリマスカラ、サウスレバ相當ノ手續ニ依ッテ之ヲ相當ノ價額ヲ以テ讓渡スルコトガ出來ルノデアリマス、第六條ニ「法律ヲ以テ特別ノ定ヲ爲シタル場合ニ限り之ヲ出資ノ目的ト爲スコトヲ得」トアルノデアリマシテ斯ウ云フ場合ニハ、雜種財産ヲ讓渡スルコトガ出來ルノデアリマス、斯ウ云フコトデ、特殊ノ規定ノアリマスル外、御話ノ如ク法理上何等ノ制限ノナイモノハ、時ノ政府ガ公益ト條理ノ上カラ、判斷シマシテ、之ガ國ガ公共ノ用ニ供シナイ、公用ニ供シナイ、何等保有スル必要ノ無イ場合ニハ、相當ノ價額デ讓渡スルコトヲ禁ズルノハ如何デアリマセウカ、何等ノ御例示ニナツテ、不都合ナ點ヲ具體的ニ御指摘ニナレバ御伺ヒシマスガ、唯々抽象的ニ考ヘマシテハ、何等法理上ノ牽制ヲ受ケナイデ、之ヲ保有スルヨリハ相當價格デ賣拂ッテ、相當收益ヲ圖ル必要ノアル場合ニハ、是ハ制限スル必要ハナイヤウニ考ヘマス、尙ホ具體的ノ場合ニ就キマシテ御意見ガゴザイマシタナラバ、ソレニ對シテ御答致シタイト思ヒマス

○宮古啓三郎君 第二條ニハ「決定」ト云フ文字ガ大分使ッテアリマスルガ、其決定ト云フノハ、各省ノ

大臣ガ之ヲ決定スルト云フ意味デスカ、ソレカラ又第三條ニ「國有財産ニ關スル事務ハ各省大臣之ヲ管理シ國有財産ニ關スル總轄事務ハ大藏大臣之ヲ管理スヘシ」ト書イテアリマスガ、此各省大臣ト大藏大臣ト孰レモ管理スルト云フコトデ、其管理ノ權限ニ何カ衝突スルヤウナ事ハアリマセヌカ、ソレカラ又各省大臣之ヲ管理スルト云フガ、是ハドウ云フ標準デ各省大臣ノ所管ヲ定メルノデアルカ 現在ノ所管ノ儘ニシテ置イテ、ソレガ即チ各省ノ所管ト云フ事ニナルデアリマスカ、或ハ將來斯ウ云フ財產ハドノ大臣ノ所管ニナルト云フ風ニ、財産ニ依ッテ管理ノ各省大臣ヲ定メルノデアリマスカ、ドウデアルカ、其點ヲ伺ヒマス

○西野政府委員 第一ノ御尋ノ、第二條ニ「決定」ト云書イテアリマスルノハ、是ハ特別ノ場合デナケレバ、御質問ノ如ク各省大臣之ヲ決定スルノデアリマス、若クハ官制ノ定メル所ニ依ッテ各省大臣ノ以外ニ局長等ガ之ヲ決定スルト云フ事ハ、必ズシモ無イトハ限リマセヌガ、ソレハ特殊ノ法制ノ存スル場合デ、一般ニハ之ヲ公共ノ用ニ供スルコトカ、公用ニ供スルコトノ決定ハ、總テ各省大臣ノ權限ニ屬スルノデアリマス、ソレカラ第三條ノ、各省大臣ガ之ヲ管理スル、サウシテ總轄事務ハ大藏大臣之ヲ管理スルトシテ、其間ニ意見ノ衝突若クハ權限ノ衝突ハ無イカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ左様ナ事ハ無イノデアリマス、即チ各省大臣ガ之ヲ管理スルト云フノハ、從來ノ國有財産管理規定ニモ斯ウ云フ文字ガアリマス、公共用財産デアリマスルナラバ、是ハ各省大臣ガ之ヲ管理スル、ドウ云フ風ニ管理スルカト言ヘバ、其公共用ニ供スル目的ノ如何ニ依ッテ例ヘバ道路ナレバ、道路ノ事ヲ掌ル内務大臣ガ之ヲ管理スル、鐵道デアアルナラバ、鐵道大臣ガ之ヲ管理スルト云フ風ニ、其物ノ目的ニ依ッテ分レルノデアリマス、又公用財産ノ如キハ、ソレガ大藏省ニ屬スルモノデアアルナラバ大藏大臣、司法省ニ屬スルモノデアアルナラバ、司法大臣ガ之ヲ管理スルノデアリマス、營利財産ハ、是ハ森林經營ノ任ニ當ル農商務大臣ガ管理スルコトニナルノデアリマス、唯々第四ノ雜種

財産ニ就キマシテハ、是ハ公共ノ用ニ供スルモノニモアラズ、公用ニ供スルモノニモアラズ、随ツテ是ハ大藏大臣以外ニ何人モ管理スルモノハ無イノデアリマス、自然ニハ特別ノ法制ガナケレバ、之ヲ總轄スル所ノ大藏大臣ニ於テ之ヲ管理スル立場ニ立ツ關係ニナルノデアリマス、斯様ニシテ、例ヘバ道路ノ如キモノハ内務大臣ガ主トシテ管理シ、其全體ヲ統一シ、全體ノ調和ヲ保チ、全體ヲ通ズル所ノ規定ヲ定メ、之ヲ總轄スルモノハ、大藏大臣ガ致スノデアリマス、各省ノ管理ニ屬スルモノニ、大藏大臣ガ干涉スルノデナインノデアリマス、全體ノ財産ノ目錄ヲ調製スルニシマシテモ、各省ノ出シタ調査書ヲ、全體ヲ打ツテ大藏大臣カ之ヲ總轄スルノデアリマス、恰モ各省ノ豫算ハ各省大臣ガソレソレノ作製シテ、全體ハ大藏大臣ガ之ヲ總轄スルト同ジャウナ關係デアリマス、一部ト全部トノ關係デアリマシテ、毫モ衝突ヲ來ス事ハナイト思ヒマス

○宮古啓三郎君 只今ノ西野政府委員ノ御説明ヲ承ツテ少シ疑問ガ起リマシタ、雜種財産ハ主トシテ大藏大臣ノ所管ニナルト云フ御意見デアリマスガ、シマスルト例ノ不要存置林ハ、雜種財産ノ中ニ入ルベキ性質ノモノデアリマセウガ、ソレハ大藏省ノ所管ニナリハセウカト思ヒマスガ、ソレハ如何デアリマスカ、何處ノ所管ニナルノデアリマスカ、農商務省ノ所管ニナルモノデアリマセウカ、或ハ又今迄トハ事變ツテ、大藏省ノ所管ニナルモノデアリマセウカ

○西野政府委員 ソレハ先刻申上デマシタヤウニ、マダ決定ハ致シテ居リマセウガ、此財産法ニ關スル限リデハ、雜種財産ハ詰リ之ヲ直接ニ所管スル各省ナルモノガ、一二三ノ三種類ノ何レニモ決マツテ居リマセウカ、法ノ觀念上——財産法ノ全體ノ構成ノ觀念上、斯ノ如キ國ノ森林經營ノ目的ニ供スルモノデナイン、何時デモ希望者ガアレバ賣ラレル、唯ダ其單純ナル事務ノ問題ニナリマセウト、他ニ特別ノ事ヲ規定サレテナインナラバ、自然大藏大臣ノ管理ニ屬スベキ筋合ニナル、併ナガラ此雜種財産ノ中ノ不要存置林ハ、單ニ收益ノ目的ニ供スル必要ハ無イノデ、是ハ農商務大臣ノ管理ニ屬セシムルコトガ、全體ノ

上ニ於テ適當ナリト認メマスレバ、勅令ヲ以テ左様ナ事ニ定ムルガ宜イカト思フ、併シハ内部ニ於ケル事務ノ分配ノ事デアリマスカラ、是ハ直接規定シマセウ、是ハ勅令ノ規定デアリマス、各省大臣之ヲ管理スト云フ趣旨ニ依ツテ、ソレハ法律上決定マルモノデナイン所ノ雜種稅ノ問題ニ對シテハ、概括シテ殊ニ特別ノ規定ガナケレバ 大藏大臣ガ管理スル譯デアリマス

○宮古啓三郎君 只今政府委員ノ御意見ヲ伺フト、不要存置林ノ所管ハ未ダドウナルカ定マラスモノ、如クデアリマスガ、先刻モ申シマシタ通り、此國有財産法ノ中デ、最モ主タルモノハ何デアアルカト云ヘバ、國有林野デアツテ其國有林野ノ幾分ハ即チ不要存置林ニナル譯デアアル、國有林野全體ニ對スル政府ノ方策如何ト云フコトハ、餘程大ナル問題デアアル、食糧問題ノ如キモ無論之ニ關係ヲシテ來ル譯デアリマスルガ、其内ノ不要存置林ナルモノハ、是ハ人民ニ拂下ゲルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其不要存置林ニ對スル問題ハ、又頗ル多イノデアリマス、私ノ承ラントスル問題ノ上ニ於テモ、大ナル部分ヲ占メル譯デアリマスガ、其不要存置林ニ就テ、即チ如何ナル處分ヲスルカト云フ事ヲ最モ主トシテ伺ヒタイト思ヒマスガ、只今ノ所デハ農商務省ガ所管ヲ致シテ居ルノデアリマセウガ、是レカラ後ソレデハ大藏省ノ所管ニ移サレルカモ知レヌ、必ズシモ農商務省ノ所管ニ將來屬シテ行クカ、ドウカト云フコトハ、未ダ決ラヌノデアアル、隨テ不要存置林ヲドウ云フ風ニ處分シテ行クト云フ事柄ニ就テハ、即チ孰方ノ省デ之ヲヤルノデアアルカ、定マラスノデアアルト云フコトニ承知スベキモノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイ

○西野政府委員 國有財産法ニ關スル限リニ於キマシテハ、不要存置林ノ問題ニ限リマセウ、總テ雜種財産ニ屬スルモノハ、直接ニドウノ大臣ノ所管ト云フコトヲ定メテ居ルノデハナイン、立法ノ精神カラ申シマシテ、原則トシテ雜種財産ハ——原則トシテト云フコトハ、只今ノ御話ハ財産ノ分量ノ上カラ御話ノヤウデアリマスガ、是ハ必ズシモ分量ノ上カラ申上デ

ルノデアアリマセウ、不要存置林ガ或ハ大部分ハサウナルカ知レマセウガ、他ノ經理ニ屬スルモノ、若クハ國有ニ屬スルモノガアルカモ知レヌ、ソレハ數ノ上カラト申スヨリハ、其觀念ヤ原則トシテ雜種財産、其財産關係ニ於テ、最モ財産的ノ觀念ヲ以テ臨ムベキモノハ、雜種財産ニ在ルノデアリマス、營林財産ノ如キ收益ヲ生ズルコトガ多大デアリマス、是ハ觀念ト致シマシテハ、雜種財産ノ一部デアリマス、是ハ特定ノモノデアリマスカラ、此森林經營上カラ所管ガ農商務大臣デアリマスカラ、是ハ當然農商務省ノ所管ニナル、雜種財産ハ、其以外ノ不要ノ國有地デアルトカ、或ハ勸産デアルトカ云フモノデアリマスカラ、觀念上ハ大藏大臣ノ所管ニ屬スル筈デアアル、併ナガラ之ヲ定メマスルコトハ、政府ノ内部ノ勅令ノ定ムル所ニ依リマシテ、官制ノ命ズル所ニ依ツテ定メマスカラ、將來如何ヤウニ定ルカハ、未定ノ問題デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、若シ食糧ノ問題等ノ關係ニ於キマシテ、不要存置林ナルモノヲ食糧政策ノ上ニ利用セラル、ト云フコトデアツタノナラバ、是ハ農商務省ニモ、大藏省ニモナル、時ノ政府ノ方針ニ依ツテ決定スルコトニナル、又例ヘバ不要存置林ニ致シマシテモ、之ヲ必ズシモ森林ニ使フ譯デアリナイン、或ハ廣場ニ使ヒマス、學校ノ敷地ニ使フ、道路ニモ使フ、鐵道ニモ使フ、其用途ニ依ツテ其時ノ主義ニ隨ツテ處分セラル、ト思ヒマス、是ハ内部ノ問題デ、勅令上ノ問題デアツテ、未定ニ屬スルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○宮古啓三郎君 私ノ伺ヒマスノハ、主トシテ實地ドウスルカト云フコトノ御尋デアアルガ、只今ノ御説明ニ依ツテ、觀念トシテ大藏省ガ管理スベキモノデアルト云フコトデアリマスガ、併シハカラ先ハ如何ナル御意見デアリマセウカ、御承知ノ通り不要存置林ハ大林區署ニ於テ之ヲ拂下ラシテ居ル譯デアリマス、將來ニ於テ其現在ノ組織ヲ變ヘテ、現在ノ遺方ヲ變ヘテ、大藏省デ之ヲ處分スルト云フ内規ガアツテ、將來ハドウナルカ判ラヌト云フ御意見デアアルノデアリマスガ、之ヲ現在ニ於テハ農商務省ガ所管シテ居ル、併ナガラ此農商務省ノ所管ハ、將來ニ於テ

ルノデアアリマセウ、不要存置林ガ或ハ大部分ハサウナルカ知レマセウガ、他ノ經理ニ屬スルモノ、若クハ國有ニ屬スルモノガアルカモ知レヌ、ソレハ數ノ上カラト申スヨリハ、其觀念ヤ原則トシテ雜種財産、其財産關係ニ於テ、最モ財産的ノ觀念ヲ以テ臨ムベキモノハ、雜種財産ニ在ルノデアリマス、營林財産ノ如キ收益ヲ生ズルコトガ多大デアリマス、是ハ觀念ト致シマシテハ、雜種財産ノ一部デアリマス、是ハ特定ノモノデアリマスカラ、此森林經營上カラ所管ガ農商務大臣デアリマスカラ、是ハ當然農商務省ノ所管ニナル、雜種財産ハ、其以外ノ不要ノ國有地デアルトカ、或ハ勸産デアルトカ云フモノデアリマスカラ、觀念上ハ大藏大臣ノ所管ニ屬スル筈デアアル、併ナガラ之ヲ定メマスルコトハ、政府ノ内部ノ勅令ノ定ムル所ニ依リマシテ、官制ノ命ズル所ニ依ツテ定メマスカラ、將來如何ヤウニ定ルカハ、未定ノ問題デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、若シ食糧ノ問題等ノ關係ニ於キマシテ、不要存置林ナルモノヲ食糧政策ノ上ニ利用セラル、ト云フコトデアツタノナラバ、是ハ農商務省ニモ、大藏省ニモナル、時ノ政府ノ方針ニ依ツテ決定スルコトニナル、又例ヘバ不要存置林ニ致シマシテモ、之ヲ必ズシモ森林ニ使フ譯デアリナイン、或ハ廣場ニ使ヒマス、學校ノ敷地ニ使フ、道路ニモ使フ、鐵道ニモ使フ、其用途ニ依ツテ其時ノ主義ニ隨ツテ處分セラル、ト思ヒマス、是ハ内部ノ問題デ、勅令上ノ問題デアツテ、未定ニ屬スルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○宮古啓三郎君 私ノ伺ヒマスノハ、主トシテ實地ドウスルカト云フコトノ御尋デアアルガ、只今ノ御説明ニ依ツテ、觀念トシテ大藏省ガ管理スベキモノデアルト云フコトデアリマスガ、併シハカラ先ハ如何ナル御意見デアリマセウカ、御承知ノ通り不要存置林ハ大林區署ニ於テ之ヲ拂下ラシテ居ル譯デアリマス、將來ニ於テ其現在ノ組織ヲ變ヘテ、現在ノ遺方ヲ變ヘテ、大藏省デ之ヲ處分スルト云フ内規ガアツテ、將來ハドウナルカ判ラヌト云フ御意見デアアルノデアリマスガ、之ヲ現在ニ於テハ農商務省ガ所管シテ居ル、併ナガラ此農商務省ノ所管ハ、將來ニ於テ

ルノデアアリマセウ、不要存置林ガ或ハ大部分ハサウナルカ知レマセウガ、他ノ經理ニ屬スルモノ、若クハ國有ニ屬スルモノガアルカモ知レヌ、ソレハ數ノ上カラト申スヨリハ、其觀念ヤ原則トシテ雜種財産、其財産關係ニ於テ、最モ財産的ノ觀念ヲ以テ臨ムベキモノハ、雜種財産ニ在ルノデアリマス、營林財産ノ如キ收益ヲ生ズルコトガ多大デアリマス、是ハ觀念ト致シマシテハ、雜種財産ノ一部デアリマス、是ハ特定ノモノデアリマスカラ、此森林經營上カラ所管ガ農商務大臣デアリマスカラ、是ハ當然農商務省ノ所管ニナル、雜種財産ハ、其以外ノ不要ノ國有地デアルトカ、或ハ勸産デアルトカ云フモノデアリマスカラ、觀念上ハ大藏大臣ノ所管ニ屬スル筈デアアル、併ナガラ之ヲ定メマスルコトハ、政府ノ内部ノ勅令ノ定ムル所ニ依リマシテ、官制ノ命ズル所ニ依ツテ定メマスカラ、將來如何ヤウニ定ルカハ、未定ノ問題デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、若シ食糧ノ問題等ノ關係ニ於キマシテ、不要存置林ナルモノヲ食糧政策ノ上ニ利用セラル、ト云フコトデアツタノナラバ、是ハ農商務省ニモ、大藏省ニモナル、時ノ政府ノ方針ニ依ツテ決定スルコトニナル、又例ヘバ不要存置林ニ致シマシテモ、之ヲ必ズシモ森林ニ使フ譯デアリナイン、或ハ廣場ニ使ヒマス、學校ノ敷地ニ使フ、道路ニモ使フ、鐵道ニモ使フ、其用途ニ依ツテ其時ノ主義ニ隨ツテ處分セラル、ト思ヒマス、是ハ内部ノ問題デ、勅令上ノ問題デアツテ、未定ニ屬スルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

モ今ノ所デハスル譯デアルカ、或ハ變ルカモ知レヌト云フヤウナ御意見デアルノデアリマス、ドウナノデアリマス、モウ一ツ伺ヒマス、大林區署ガ拂下ヲスルヤウニ、大藏省デ拂下ヲスルト云フヤウナ事ニナルカモ知レヌト云フ、其點ハマダ決ラズニ居ルノデアル、斯ウ云フノデセウカ、伺ヒタイ

○委員長(清水市太郎君) 伺ヒマスガ、斯ウ云フ意味ノヤウデス、宮古君ノ尋ネラレル所ハ——國有林野ト云フモノハ、國有林野ノ營林財産ト決定シタモノハ、農商務省ノ所管デアル、營林財産ト決定シナイ國有林ナルモノハ、第二條ノ第四項ヘ入ッテ雜種財産トナッテ、雜種財産ハ大藏大臣ガ法律觀念上デハ管理スル、斯ウ云フ意味ニナル、國有林野ハ從來ハ營林財産デアラウガ、不要存置林デ賣拂フモノデアラウガ、農商務省ノ所管デアッタガ、此法ノ結果、雜種財産ニ入ッテ、雜種財産ハ大藏大臣ノ所管ニナッテ居ルガ、其大藏大臣ノ所管ニナッテ農商務大臣ノ所管ニナラナイノカ、或ハナルノカト云フノデス、農商務省ノ政府委員カラ答ヘテモ、孰方デモ宜シイデセウ

○田中政府委員 一寸私カラ御答シマセウ、只今御話ヲ申上ゲタ事ハ、大體國有林野法トシテ、法ノ範圍内ニ於キマシテ、假ニ雜種財産ト云フ名義ノ財産ガ永ク存續シテ居ル場合ニ於テ、其財産ノ管轄權ハ、法ノ全體ノ立テ方カラ何處ノ管轄ニナルカト云ヘバ、丁度御尋ニナッテ第三條ニ依ッテ大藏大臣ノ管轄ニスルト云フヤウナ順ニナラウ、自然ノ順序トシテ——併ナガラ他ノ或ル目的ノ用途ノ爲メ、其他ノ關係ニ於テ、雜種財産デアアルモノヲ他ノ大臣ノ管理ニ屬セシムルコトガ出來ルカト云ヘバ、ソレハ勅令其他ニ於テ其所屬ヲ定メルコトモ出來得ル、例ヘバ開墾ノ爲メニ不用財産ヲ處分スル、開墾用適地デアルトカ、或ハ放牧用ニ適地デアルトカ、其財産ノ性質ニ依ッテ自ラ用途ノ運命ガ定ッテ居ルヤウナモノガアル、或ル官有財産ヲ不要存置ノ財産ト定メテ、而シテ之ヲ開墾ナリ、或ハ放牧地ナリニ讓リ渡サウト云フ場合ニハソレハ農商務大臣ノ權限内ノモノトシテ、農商務大臣ニヤラセルト云フコトヲ、勅令ヲ以テ定メルコトモ出來ルト云フ意味ニ、御説明ヲ申上ゲタコト

ト思ハレマス、相談モ其通りニナッテ居ルノデアリマス、マダソレハ確定シテ、如何ナル場合ニ於テ農商務大臣ノ管理ニ屬セシメ、如何ナル場合ニ於テ大藏大臣ガヤルト云フ細目マデノ打合セハマダ濟ンデ居リマヘス

○宮古啓三郎君 只今ノ御説明ヲ承ハルト、雜種財産ノ中ニ這入ル所ノ不要存置林ハ、今日マデハ農商務省ノ所管デアッタケレドモ、勅令ヲ以テ更ニ農商務省ノ所管ニスルカ、ドウカト云フ事ヲ決メルノデアル、此法律案デハ、其點ハ未定ノ問題デアッテ、勅令ガ出ナケレバソレハ分ラヌノデアル、現在ハ農商務省デ所管シテ居ルノデアルガ、此國有財産法ノ施行ト同時ニ、勅令ガ出テ、若シ農商務省デ依然トシテ所管スルナラバ、其時ニ勅令ニ其事ガ載ルノデアル、若シモ其當時勅令ニ載ラナカッタナラバ、農商務省ノ所管ヲ離レテ、大藏省ノ所管トナルノデアル、斯ウ云フ風ニ承知シテ宜イノデアリマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、大體ソレデ宜シイト思ヒマス、思ヒマスガ不要存置林ヲ農商務省ガ何故ニ今日所管シテ居ルカト云フ性質ニ就テ御考慮ヲ願ヘバ、自然此問題ガ判ルト思フ、不要存置林ト云フモノハ、要スルニ林野トシテ其場所ヲ經營スル必要ノ無い、或ハ經營シテハ不經濟ダト思フカラ、林野以外ノモノトスルナラバ、農商務省ガ之ヲ管理シナクトモ宜シイノデアアル、併ナガラ此不要存置林ヲ詰リ賣却ヲシテ、其代金ヲ以テ農商務省ノ他ノ山林經營ヲスル方ニ充テ、行クト云フ、全體ノ計畫ガ立ッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマス、自然或ル林野ヲ不要存置ノモノトシテ、ソレヲ處分シテ、其代金ヲ林野經營ノ方ニ振向ケテ行ク必要ノ爲メニ、農商務省デ之ヲ管理シテ居ルノデアリマス、不要存置林ト云フモノハ、農商務省デ管理シナケレバナラヌト云フ——不要存置ト云フ性質カラ農商務省ガ管理スルト云フモノニナッテ居ルノデアリマヘス、デアリマヘス、若シモ賣ラズニ永久ニ之ヲ不要存置ニシテ置クト云フモノデアラナラバ、農商務省ガ管理シテ置ク必要ハ無いノデアリマス、併ナガラ全ク其不要林

野ト云フモノハ、滅多ニ有ルモノデアアルマイト思ヒマス、其多クハ之ヲ開墾地ニ致ストカ、或ハ牧場ニ致シマス、農商務省關係部内ノ事ニ振向ケテ行ク場合ガ多カラウト思ヒマス、思ヒマス、其不要存置林ヲ如何ナルモノニ處分スルカト云フコトガ大體ニ於テ判ッテ居ル場合ニ於テハ、之ヲ何レ農商務省ニ於テ處分スルカト云フ事ニナラウト思ヒマス、今日ノ如クニハハッキリ法律ニ決メテ置ク譯デハナイ、今日農商務省デ處分シテ居リマスル根本ハ、今申上ゲタヤウナ事カラ出テ居ル

○宮古啓三郎君 不要存置林ハ澤山無イカノ如キ今政府委員ノ御意見デシタガ、今日要存置林ト不要存置林トヲ分ケテ、不要存置林トシテ存シテ居ル財産ハ、餘程澤山アルト云フコトヲ信ジマスガ、其不要存置林ト云フモノヲ處分スルノニ、今マデ通り農商務大臣ガ處分シテ行ク譯デアアル、其目的ハ森林經營ノ費用ヲ造ルト云フヤウナ事モ無論アルノデアリマヘス、左様ナ事モアリマセウガ、併ナガラ是ハ又一方ニハ人民ノ利便ヲ圖ルト云フ事モ無論アリマセウ、或ハ緣故ノ拂下ト云フヤウナ事モアルノデアリマスガ其他公用ノ爲メ、公益ノ爲メト云フヤウナ事モアルノデアリマス、必ズシモ政府ノ都合バカリカラシテ賣拂フト云フ事デモアルマイト思ヒマス、其處分ヲスル所管大臣ヲ誰ニスルカト云フコトノ意見ハ政府ニ於テ此國有財産法ヲ議會ニ提出スルニ就キマシテハ、最早立ッテ居ルノデハナイノデアラウカ、未ダソレヲ誰ガ所管シテ、ドウスルカト云フコトガ、少しモ立タズニアルノデアリマセウカ、將來ハ農商務大臣ガ矢張今マデ通りヤル積リデアアル、或ハサウデナクスル積リデアアルト云フ御見込ハ、大體御分リニナッテ居ハシマイカト思ヒマスガ、其點ハ如何デセウカ

○田中政府委員 御答致シマスガ、實際ノ問題ト致シマシテハ、不要存置林ト云フモノヲ決メテ、サウシテソレヲ賣ルベキモノヲ賣ラズニ黙ッテ持ッテ居ルト云フコトハ、滅多ニアリマヘス、多クハ此處デハ開墾ヲ是非シタイトカ、此處ハ放牧地ヲ拵エタイト云フ目的ガアッテ、サウシテ是非此處ヲ

政府ノ山林トシテ殘シテ置カヌデモ宜ササウニ思ハ  
レルカラシテ、人民ノ便利ヲ圖ツテ、不要存置ニ編入  
シテ吳レト、人民ノ方ガ本ニナツテ不要存置ニスルヤ  
ウナ場合モ往々アルノデアリマス、殊ニ今度開墾獎  
勵ト云フモノヲ助成法等ニ依ツテヤツテ居ルノデアリ  
マスカラ、開墾適地デアアルナラバ、出來ルダケ忍ンデ  
開墾地ニ之ヲ振向ケテ行クト云フコトモ致シマス、  
サウ云フヤウナ意味ヲ以テ開墾ヲ不要存置ニシタ場  
合ノ如キハ、無論是ハ何ト言フ所ガ、便宜上カラ云ッ  
テモ農商務省ニ於テ處分スルノガ必要デアアル、又開  
墾地ニ適スルヤ否ヤト云フコトヲ定メルコトモ、農  
商務省ノ本職デアアル譯デアアル、譯デアアルマスカラ、矢  
張農商務省ニ於テ所管スルコト云フ事ニ大體ガナラウ  
ト思フノデアリマス、ケレドモ差當ツテ何等ノ變動モ  
ナシ、當分ノ之ヲ不要存置ニシテ放ツテ置イテ、欲シイ  
ト云フ人ガアルノデモナシ、全ク廢シタヤウナモノ  
デアリマスナラバ、是レドウシテモ原則ニ依ツテ大藏  
省ノ方デ管理シテヤルト云フ事ニナラウト思フハ、實  
際問題トシテハ御心配ニナルヤウナ點ハ無カラウト  
思フ

○委員長(清水市太郎君) 只今ト同一ノヤウナ問題  
デアリマスガ、斯ウ云フノニシタラ簡單ニ意見ガ纏  
リハシナイカト思フノデ、政府委員ニ問ヒマスガ、即  
チ第二條ノ四種ハ從來先ヅ農商務省デ管理ヲシテ居  
ル、併シ農商務省デ管理スル必要ヲ認メヌヤウナ事  
ニナツタラ、大藏大臣ノ管理ニ始メテ移ル、サウ云フ  
風ニナラヌト、宮古君ノヤウナ質問ガ出テ、頗ル困難  
ナ事ニナラナイカト思ヒマス

○田中政府委員 唯今委員長ノ仰ツタ事ノヤウナ積  
リデ答辯ヲ致シタノデアリマス

○宮古啓三郎君 其事ハ大體分リマシタガ、今田中  
政府委員ガ不要存置林ニ就テ御話ニナツタ事ハ、私ノ  
云フ不要存置林トハ何カ違ッテ居ヤシナイカト云フ  
疑ガ起リマス、田中農商務次官ハ、不要存置林ト云フ  
ノハ、開墾ノ目的ノ爲メ、若クハ牧場ヲ設置スルガ爲  
メニ拂下ゲタリスル、詰リ廢リ地ノ如キ御意見ニ伺  
ヒマシタガ、私ノ言フノハ左様ナモノモ這入リマス  
ケレドモ、主トシテソノナモノデハナイ、御承知ノ通

リ今日國有林野ナルモノハ二ツニ分ケル事ガ出來ル  
一ツハ要存置林、一ツハ不要存置林デアリマス不要  
存置林ト云フノハ國家ガ將來森林ノ經營ヲヤル所ノ  
モノデアアル、又不要存置林ト云フノハ政府ニ於テ之  
ヲ保存スル必要ガ無イカラ、追ッテ民間ニ拂下ゲル、  
斯ウ云フ性質ノモノデアアル、ソレ故ニ成ベク政府デ  
持ツテ居ラヌデモ宜イモノハ之ヲ不要存置林ニ編入  
シテ行クノデアアル、故ニ之ニハ臺帳ガ出來テ居ッテ不  
要存置林ト要存置林トガ區別サレテ居ルノデアリマ  
ス、不要存置林ハ決シテ開墾ノ爲ニ拂下ゲ、又ハ牧場  
設置ノ爲メニ拂下ゲル性質ノモノデアリナイノデア  
アル、サウ云フ爲メニ要ルナラバ不要存置林カラ拂下  
ゲテモ宜カラウ、山林ハ山林ノ儘デ拂下ゲルノデア  
ルカラ餘程澤山ニアル、此處分ハ國家ノ經濟ノ上ニ  
於テ非常ニ大ナル影響ヲ有ツテ居ルノデアアル、ソレデ  
アルカラ田中政府委員ノ仰ルヤウニ、廢リ地デ、牧場  
若クハ開墾ノ爲メニ拂下ゲル、詰リ僅カナモノデア  
ルカラ、ソレハ大藏省ノ所管ニシテ宜イ云々ト云フ  
ノト、私ノ申ス不要存置林ノ性質トハ、大變相違スル  
ヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ

○田中政府委員 不要存置林ト云フモノハ、只今御  
話ノヤウニ要存置林ト不要存置林トヲ分チテ、農商  
務省デ唯ダ持ツテ居ルト云フモノデアリナイ、不要山林  
ハ林野トシテ存置スル必要ガナイト決ツタモノデ、ソ  
レハ處分シ、又處分シツ、アルノデアリマス、唯ダ林  
野ヲ二足三文ニ賣ルト云フノデモ何デモナイ、相當  
ノ價格デ拂下ゲルニハ、可ナリ手間ガ取レル、又不要  
存置林ノ中デ或ハ陸軍省等トノ關係カラ、當分處分  
ヲシタリ、又賣却ヲ見合セテ吳レト云フ交渉ノアル  
爲メニ殘ツテ居ルモノモアルノデアリマス、併ナガラ  
詰リ早晚或ル時期ニ於テ順次ニ處分サレテ行クモノ  
デアツテ、何カノ爲メニ農商務省ガ不要存置林ト云フ  
モノヲ保存シテ持ツテ居ルト云フモノデハ少シモナ  
イノデアリマス、ソレカラ私ハ正確ナ數字ハ覺エテ  
居リマセヌガ、全國デ不要存置林トシテ殘ツテ居ルモ  
ノハ、十何萬町歩位デ、左程澤山アリハ致シマセヌ、  
ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○西野政府委員 一寸第三條ノ解釋ノ點ニ就キマシ  
テハ、是ハ重要ナ問題デアリマスカラ、私カラ一言申  
上ゲマス宮古サンカラ御話ノ農商務省ノ不要存置林  
ノ事デアリマスガ、是ハ價格ノ點ニ於キマシテハ、雜  
種財産ノ中ノ主ナルモノデアアラウト思ヒマス、併ナ  
ガラ大體國有財産法制定ノ趣意或ハ法制ノ立テ前カ  
ラ致シマシテ、一應申上ゲテ置キタイト思ヒマス、雜  
種財産ニ屬スルモノハ、御承知ノ通りニ、單リ不要存  
置林ニ限ツタモノデアリナイ、中ニハ陸軍省ノ所有地モ  
アレバ、宮内省ノ所有地モアル、或ハ船舶ノ如キ遞信  
省ノ所有ノモノモアリマセウ、若クハ鐵道省ノ所有  
ニ屬スルモノモアリマセウ、凡ソ國有財産法ノ制定  
ニ就テハ、從來此議會ニ於キマシテモ度々色々ナ御  
說モ出マシタシ、國有財産調查會モ出來マシタガ、此  
國有財産ニ就キマシテ、各省ガ御互ニ之ヲ持ツテ居  
テ色々ナ事業ノ爲メニ旨ク利用シナイト云フ事ハ、  
甚ダ宜シクナイ、是ハ宜シク統一シテ、旨ク利用シテ  
財政上ノ利便ヲ圖ルガ宜イト云フ御意見ガ、衆議院  
ニモアリマシテ、是等ノ事カラ官有財産調查會ガ遂  
ニ統一シタル法規ノ必要ヲ認メテ、又政府當局モ之  
ヲ認メ、遂ニ大藏大臣カラ先日ノ本議場ニ於テ申サ  
レタヤウニ、第一ニ國有財産ノ整理ニ就テ、其管理法  
規ヲ統一シテ、根本ノ法制ヲ確立シテ行クト云フ事  
ノ急務デアルト云フ所カラ、此法案ガ編成セラレタ  
譯デアリマス、隨テ是ハ必ズシモ不要存置云々ス  
ルノデアリマセヌガ、國有財産ヲ各省ガ夫々使ツテ  
居テ、其中一方ニ於テ不必要ナモノガアレバ他ノ方  
ヘ移ス、一ツ所デ持ツテ居ッテハ、國有財産トシテノ目  
的ハ達セラレナイ、公用ニ供シテ居ルモノハ勿論デ  
アルガ、又農商務省ガ森林經營ノ下ニ使ツテ居ッタ財  
産、其國ノ森林經營上保有ノ目的デアルト云フ事ガ  
決ツタ以上ハ、是等ハ宜シク財務當局ノ手ニ移シテ、  
相當ナ財源ヲ得テソレヲ利用シタイ、今日マデ一般  
ノ意見ハ斯様デアツタ、先刻御話ニナリマシタ、賣拂  
フカ賣拂ハスカト云フ事ハ、末ノ事デアリマス、併ナ  
ガラ是等ノ財産ハ、財務當局ニ於テ之ヲ統轄的ニ管  
理スル、是ハ如何ナル方面デドウ云フ手續ヲスルト  
云フ事ハ、或ハ船舶ノ事ハ遞信省ガ最モ便利デアアル、  
或ハ土地ナラバ何處ガ宜シイ、或ハ森林ナラバ農商

務省が森林經營ヲヤツテ居ル關係上、森林原野賣却ニハ農商務省ガ最モ適當デアル、鐵道ナラバ鐵道大臣ガ賣却手續ヲスルガ便利デアルト云フ事モアリマセウ、是ハ賣却等ニ關スル手續ノ問題デアリマシテ、大體ニ於テ此國有財産ヲ管理シ、統一シテ行ク責任ハ、大藏大臣ニ負ハシメルト云フ事デアリマス、又、雜種財産ト云ツテモ、即チ公用ニ供シタモノハ、一應大藏省ニ持出シ大藏大臣ト協議ノ上、或ハ賣却スルモノナラバ賣却ノ手續ヲシテ、各省大臣カラ大藏大臣ニ管理ガ移ルノデアリマス、サウ云フ風ニナレバ、大藏省ハ國ノ不要財産モ斯ノ如キ狀態ニナツテ居ルト云フ事ヲ知リ各省ノ間ニ有無相通ジテ、例ヘバ一方ニ於テ剩ツタモノハ一方ヘ賣ツテヤル、又剩ツテ居ルモノハ豫算ヲ要求スル事ヲ止メテ之ヲ利用スル、斯ウ云フ趣意デアリマス、其他ノ不要財産ニ就テモ衆議院等ニ於キマシテ、最モ御議論ガアツテ、最モ有效ニ利用スルト云フ事デ、其整理ヲ監督致シマス爲メニ、之ヲ財務當局ノ手ニ一應總メテ管理ヲスルト云フ事ガ必要デアアル、斯様ナ次第デ、國有財産ノ整理ヲ行ツテ行クノデアリマス、不要存置林ハ農商務省内ノ事デアリマスガ、單リ不要存置林ノミニ限リマセヌ、船舶デモ、鐵道デモ、賣却手續ニ就テハ官制上ノ問題デ、如何ヤウニ政府ノ間デ便利ナ處置ヲ執ツテモ、決シテ其間ニ不便ヲ來サンヤウニ思ヒマス、政府當局ノ其意ノ在ル所ヲドウゾ御了解ヲ願ツテ置キタイ、之ガ成案ニナツテ居リマスカラ、其意ノアル所ヲドウカ御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○委員長(清水市太郎君) 一寸私カラ御尋致シマスガ從來ノ國有財産ニ關スル勅令ガ幾ツモ出テ居ルヤウデアリマス、其勅令ハ此法律ガ出ルト抵觸スルモノハ皆自然無効ニナツテシマフト云フノデアリマスカ

○西野政府委員 大體左様デゴザイマス、併ナガラ其同ジヤウナ規定ハ新ニ出マスル勅令ニ依リ積リデアリマス、全體ノ構成トシテハ變リマセヌガ、斷片的ノ勅令ハ皆廢止スル積リデアリマス

○委員長(清水市太郎君) モウ一ツ只今ノ第三條ニ就テ——從來陸軍ノ土地ニ不要ノ土地ガアル之ヲ

森林ヲ拂下ゲルトカ云フヤウナトキニハ、一旦内務省ノ管轄ニ復歸シテ、サウシテ内務省デ賣ツテ、賣上代金ハ大藏省ノ一般會計ニ通入ツテシマフト云フヤウナ風ニ聞イテ居ル、此法律ガ出マスト、陸軍省用地ガ不要ニナルト云フト直ニ拂下ゲル、大藏大臣ノ管理ニナツテ大藏省ガ拂下ゲル、内務大臣デヤッタコトガ大藏大臣ガヤルコトニナル、其關係ハ……

○西野政府委員 ソレモ全ク別ノ關係カラ申セバ同ジデ、不要存置林ハ從來農商務省デヤツテ居リマスカ、ソレモ雜種財産トシテ不要地ハ從來内務省ニ纏メテ居ル、是モ内務省ノ手ヲ離レテ不要地ガ出マスカ、大藏省ニ所管ヲ移スト云フ順序ニ致ス積リデ、但シ先刻申シマシタヤウニ、ソレヲドウ云フ手續ニ致スカ、ソレハ別ノ問題デアリマスカ、大體ノ法ノ構成立前ハサウ云フ風ニ致シタイ

○委員長(清水市太郎君) 内務省ノ管轄ニ復歸スルト云フノハ、法律デアリマスカ、勅令デアリマスカ

○西野政府委員 勅令ニ於キマシテ各省デ公用ヲ廢シタ土地ハ内務省ノ管轄ニ移ス、ソレニ就キマシテハ從來内務大臣ガ最モ土地ヲ管理スルニ便宜ナ地ニ在ルト云フノデ、官有地取扱規則ニ依ツテ決ツテ居ッタデアリマス

○澤來太郎君 政府委員ト吾々委員トノ間ニ於ケル問答ノ結果ハ、實質ハ頗ル簡單ナヤウデアリマスカ、レドモ、其問答ノ道行ガ複雑致シマシタル爲メニ、一寸惑ハザルヲ得ンヤウナ事モゴザイマシタケレドモ、之ヲ要スルニ斯様ニ解釋シテ宜シデアリマセウカ、例ヘバ本則トシテ此雜種財産ナルモノハ無論大藏大臣ノ管轄ニ屬スベキモノデアアル、併ナガラ國ノ利益ヲ得ル上ニ於テ、多少變通ノ嫌ヒアルケレドモ、從來ノ關係ニ鑑ミテ、例ヘバ農商務省ニ於ケル存置林ノ如キモノハ、矢張扱ヒ馴レテ來テ居ル所ノ其省ニ取扱ハシムル方ガ宜イト、斯ウ云フコトニ解釋致シマスレバ、頗ル簡明ニシテ其要ヲ得テ居ルヤウニ考ヘラレルノデス、左様ニ了解シテ宜シウゴザイマスカ、之ヲ政府委員ニ御尋致シマス

○西野政府委員 大體只今御話ノヤウニ考ヘマスカ、詰リ其實際ノ取扱ニ就テハ各々主管ノ——之ヲ

卑近ノ言葉ヲ以テ申セバ、餅屋ハ餅屋デアアル、各々掌ル所ノ事務ノ性質ニ依ツテ便宜ガアリマスカラ、便宜ノ方法ニ依ツテソレヲ處分スルヤウナ規定ガ設ケタイト考ヘテ居リマス

○澤來太郎君 ソレデハ私ノ申上ゲタ通りニ解釋シテ宜シイト云フコトニ歸スルノデスナ

○西野政府委員 左様デス

○宮古啓三郎君 幸ヒ田中政府委員ガ御出デスカラ、此森林ニ關スル政府ノ政策問題ニ就テ御尋致シタイ、此國有財産法ニ於テ森林財産ト云フモノガ設ケラレテ、此森林財産ハ一體雜種財産ニ屬スベキ不要存置林ダケヲ賣拂ヒマスト云フコトニ定メラレ方デ見マスルト云フト、甚ダ遺憾ナ事ガ多イヤウニ思フノデアリマス、苟モ國家ガ森林ノ經營ヲシテ行カウト云フモノデアラナラバ、人民ノ方デ經營スルト云フコトハ困難デアアル所ノ森林ヲ經營スルト云フ方ガ相當デアラウト思フノデアリマス、人民ニ於テ經營スルニ適當デアアル所ノモノデアラナラバ、矢張人民ニ拂下ゲテ人民ニ經營セシムルコトガ利益デハナイカ、頻ニ政府デ植林業等ヲ致スノデアリマスカ、政府デスル所ノ仕事ハ多クハ非常ニ費用ヲ要シマシテ、而シテ又其管理ヲ致スニ就テ非常ニ面倒デアアル、本當ノ管理ヲスルノニハ非常ニ多數ノ役人ヲ使ハナケレバ到底管理ハ出來ナイト云フ狀態デアアル、人民デアアルナラバ其村ニ居ル所ノ人民ハ之ヲ管理スルノニ頗ル樂デアアル、自分ノ所ニ居ツテサウシテ之ヲ管理スルコトガ出來ルト云フ譯デアアルカラシト云フコトニナツテ來ル、ソレ故ニ政府デ以テ之ヲ經營シテ行クト云フコトハ寧ロ損デアツテ、人民ニ經營セシムル方ガ寧ロ德デアルト云フヤウナ場合ガ多イヤウニ思フノデアリマス、ソレカラ又大ナル森林デナイ、小サナ森林デアアルナラバ、是ハ最モ人民ニ經營ヲサセル方ガ德デアラウト思フ、又人民ノ方デアアルナラバ、或ハ其森林ヲ森林トシテ置カナイデ、開墾ヲスルト云フコトモアリマセウシ、或ハ又森林トシテモ植林スル事ニ、最モ人民ニ適當ナルモ

ノヲ植林スルト云フヤウナコトモアル、ソレカラ又其以外ノ目的ノ爲メニ其森林ヲ使用スルト云フコトモアツテ大ナル森林デナケレバ最モ人民ガソレヲ經營スルガ利益デアルト思フノデアアル、所ガ小サナモノデモ政府ニ於テ森林ヲ經營シテ、例ヘバ田畑ノ真中頃ニ持ッテ行ッテ森林ヲ經營シテ植林スルト云フヤウナ遣方ガ各地ニ在ルヤウニ見エル、頗ル人民ハソレニ對シテ異論ヲ挿ンデ居ルノデアツテ何故ニ要存置林トシテ政府ニ於テ經營シテ行クノデアアルカト言ッテ疑ッテ居ル、往々私共ノ考ヘデハ、政府ニ於テ經營スル森林ハ大ナルモノデ、兎ニ角人民ガ經營スルノニ適當シナイト云フトコロノモノハ、何所マデモ國家ガ之ヲ經營スルコトハ宜イガ、人民ガ經營スルコトヲ望ミ、又人民ガ經營スルノガ適當デアルト云フ森林ハ、寧ロ人民ニ之ヲ經營サセルノガ利益デハナイカ、愛林ノ情ニ於テモ、人民ガ經營スレバ最モ適當ナル經營ガ出來ルト思フ、之ニ反シテ政府ガ之ヲ經營スル事ニナルト、或ハ野火ガ入ルトカ、或ハ盜伐ヲサレルトカ、云フヤウナ事ガ中ニ多イノデアツテ、其經營ト云フモノハ、困難デアルト云フ状態ニ相成ルノデアリマスカラシテ、此森林ノ中ヲ大ニ解放ラシテ、サウシテ國有財産法デ申シマシレバ、營林財産ヲ減ラシテ雜種財産ニ組入レテ、之ヲ人民ニ拂下ゲテ人民ガ經營スル方ガ適當ナルモノハ、之ヲ人民ニ經營サセル、先刻御話ノ開墾若クハ牧場ト云フヤウナモノデナク、森林經營トシテ人民ノヤレルモノハ人民ニ之ヲ經營サセルト云フコトノ方針ヲ執ツタナラバ、餘程宜シクハナカラウカ、ソレカラ又其森林ノ中ニハ、舊幕時代ノ關係カラ申シマスト、人民側ニ於テ自由ニ之ヲ使用シテ居タモノガ澤山ニアル、其中デ實際ニ於テハ、民有ノ性質デアッタモノモ無論澤山アルニ相違ナイ、假 人民ノ所有デナイニシテモ、隨意ニ或ハ木ヲ伐リ、或ハ草ヲ刈リ、勝手次第ニ、村ニ於テ使用シテ居タ森林ガ澤山アツタノデアアル、斯様ナ森林ノ如キモノハ、舊幕時代ニハ人民ガ自由ニ使用シテ居タモノガ、今日ハ之ヲ政府ガ經營スルコトニナツテ 其内ノ草ヲ刈ルコトモ出來ナイ、木ヲ伐ルコトモ出來ナイト云フコトニナツテ、若

シ人民ガ其内ノ木ヲ伐レバ盜伐ノ處分ヲ受ケル、草ヲ刈レバ盜伐ノ處分ヲサレルト云フコトガ、今日澤山出來テ居ルノデアアル、サウ云フ事ハ甚ダ悲シムベキ状態デアツテ、舊幕時代ニ於テハ人民ガ自由ニ使用シテ利益ヲ得テ居タモノデアアル、所ガ明治政府ニナツテカラハ、之ヲ自由ニ使用スルコトガ出來ナクシテ、舊幕時代ニ比シテ不利益ナ状態ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、故ニモウ少シ奮發シテ、森林財産ノ中カラ解放シテ、サウシテ人民ニ拂下ゲテ人民ニ經營サセルト云フコトガ出來ナイモノデアラウカドウカ、此點ヲ先ツ第一ニ伺ヒタイ

○田中政府委員 御答ヲ致シマスガ、前段ノ御尋ノ小サナ森林ヲ政府デ、態々手ヲ著ケヌデモ宜ササウナモノデハナイカト云フ御質問ハ、御尤デアリマシテ、實ハ御尋ノ如キ森林ハ、所謂不要存地トシテ處分スルノ方針ヲ立テ、居ルノデアリマス、政府トシテハ無論大キナ一團地ヲ成シテ居ル森林ヲ經營シテ行クノデアリマス、離レ離レノ小サナ森林ハ、所謂不要存地トシテ處分スルコトニナツテ居リマスカラ、若シ數多キ處分ノ中ニ、或ハ處分漏等ガアリマシタナラバ、ソレハ何時デモ不要存地ニナシ得ル譯デアリマス、方針トシテハ御示ノ通りニナツテ居リマスカレドモ、大體森林ト云フモノ、管理經營ハ餘程六ヶシイモノ、且永遠ノ利害ニ關係スルモノデアリマスノデ、民有ニナリマス、兎角永遠ノ利害ヲ忘レテ一時ノ利益ノ爲メニ濫伐ニ流レルト云フ事ガアル、何トシテモ事實サウナンデス、ソレデ此前ノ議會ニモ、所謂人民ノモノ、所謂公有林野ニ就テモ、政府ガ相當ノ負擔ヲシテ、植栽ヲ獎勵シナケレバ何時マデ經營ツモ禿山ハ禿山デアアル、而シテ此山林ト云フモノハ、國土ノ保安上カラ見マシテモ、中々容易カラヌ關係ノ在ルモノデアリマス、殊ニ近來ハ皆御互ニ注意スルヤウニナリマシタカラ、餘程其害モ減ツテ參リマシタケレドモ、洪水ガ起ツテ田畑等ガ非常ニ荒サレルト云フ其因ハ、山林ノ荒廢ニ原因シテ居ルコトガ多々アルノデアリマス、此山林ト云フモノ、大部分ハ、國トシテ經營シテ行クト云フコトハ、是ハドウシテモ方針トシテ執ラナケレバナラヌト信ジテ居リマス、

併ナガラ只今御話ノ如キ一小區劃ノ森林ト云フヤウナモノハ、無論出來得ル限り民間ノ手ニ移スト云フコトニ就テハ政府トシテハ、何等異存ハナイノデアリマス、ソレカラ又後段ノ御心配ノ點、即チ舊幕時代ノ慣習等トハ大分喰違ツテ居ルガ如キ今日ノ民政デアツテ、地方ノ人ガ非常ニ困ツテ居ルト云フコトハ、多少ノ事實ガナイデハナイト私共認メテ居リマス、此點ニ就テハ、國ノ爲メニモ甚ダ憂フベキ事ト存ジマシテ、實ハ昨今方策ヲ定メマシテ、遠カラザル時期ニ於テ、御安心ノ行クヤウナ方法ヲ、御満足ヲ買ヒ得ルカドウカ知レマセヌガ、御安心ノ行クヤウナ方法ヲ立テタイト思ッテ居リマス、色々其例トシテ御話ニナツタ、草ヲ刈ルトカ、薪炭ヲ採ルトカ、茸ヲ採ルトカ、栗ヲ拾フトカ云フコトノ爲メニ、犯罪ニナルト云フヤウナコトノナイヤウニ、而シテサウスル方法ハドウスルカト云フト、兎モ角モ是ハ官有財産デアリマシテ、官有財産タル以上ハ其財産ノ處分方法トシテ、謂レナク假令價格ニシテハ僅カカモ知レマセヌケレドモ、只ヤルト云フコトハ出來ル譯デナイ、併ナガラ人民ニ苦痛ナクシテ雙方ノ利便ノ下ニ之ヲ村民ヲシテ取得セシムル、之ヲ要スルニドウスルカト云フト、詰リ各村或ハ部落等ニ其管理ヲ委託スルヤウナ方法ヲ執リタイト思ッテ居リマス、十分御心配ノヤウナ事ノナイヤウニ注意シテ居レル、或ハ盜伐等モ監督シテ呉レルト云フヤウナ義務ヲ部落ニ負擔サセル、其代リニ、村民ニハ草ヲ刈ラセル、栗モ拾ハセル、必要ナ薪炭材モ差上ゲヤウト云フ風ニ舊幕時代ニ於テ村民ノ享ケテ居タ恩惠ヲ、今日ニ於テモ其通りカドウカ知レマセヌケレドモ、兎モ角モ、今日ノ如キ窮屈ノモノトセズシテ、今日デハ如何ニモ御話ノ通り窮屈デアリマス、自分ノ庭先カラ、「ステッキ」一本伐ツテモ、法律上カラ申シマスト、犯罪者ニナランケレバナラヌヤウナコトニナツテ居ル、サウ云フコトノナイヤウナ方法ヲ開キタイト思ウテ居リマス、併ナガラソレニ致シマシテモ、中々其關係スル所ガ廣イノデアリマシテ、ソレヲ實施致シタイト思ウテ、今折角取調中デアリマス、大體ニ於テハ、無論農商務省トシテハ省議モ決メテ居ルコトデゴザイマスカラ、

出來得ル限リ速ニ其方法ノ實施ヲ努メタイト思フ、  
骨ヲ折ッテ居ル譯デアリマス、其點ハ御安心ヲ願ヒタ  
イト思ヒマス

○宮古啓三郎君 只 政府ノ御方針トシテ小サイ所  
ノ山林ハ、人民ニ拂下ゲルト云フコトニ相成ッテ居ル  
ト云フ事柄ハ、誠ニ宜イコト、思ヒマスガ、不幸ニ  
シテ實際ノ有様ヲ見マスルト云フト、甚ダ小サナモ  
ノガ森林經營地ニナツテ、植林ヲサレテ居ルト云フ  
ノガ多イノデアリマス、村ノ方デ開墾ラシタイ 開  
墾ニ誠ニ適スルト云フヤウナ土地デアアルノニ拘ラ  
ズ、平地ヘ以テ行ッテ森林ノ經營ラシテ居ルト云フ  
ヤウナ事柄ガ方々ニアル、無論政府委員ニ於テ只  
今此處デ御承知ニナル筈ハナイノデアリマスガ、實  
際ニ於テ各大林區署ノ管轄内ニ、サウ云フモノガ  
幾ラモアルノデアリマス、サウ云フモノニ對シマシ  
テハ、或ハ開墾ノ爲メナリ、或ハ緣故拂下ナリ、詰  
リ此臺帳カラシテ、開放ラシテ、サウシテ此不要存置  
林ニ編入シテ、人民ニ拂下ゲルヤウニ致シタイト思  
ヒマス、左様ナコトニ希望ラ致シマス、ソレハソレ  
ト致シマシテ、更ニ一ツ伺ヒタイトハ、先刻大藏省  
ノ政府委員ニ御伺ラシタ譯デアリマスガ、此寺院若  
クハ佛堂ニ對スル土地ノ關係デアリマス、先刻モ申  
シマシタガ、此寺院又ハ佛堂ノ境内地ガ、今日ノ有  
様デハ甚ダ區々タル處分ニ相成ッテ居リマシテ、利  
益ヲ受ケタルモノモアリ、利益ヲ受ケザルモノモ  
アルト云フヤウナ有様ニナツテ居ル、固ヨリ此寺院  
若クハ佛堂ノ境内地ガ、幕政時代カラシテ其所有デ  
アルモノト所有デナイモノトアルニハ違ヒアリ  
マセウガ、幕政時代ニ於キマシテ、或ハ贈與等ニ依  
ッテ、寺院若クハ佛堂ノ所有ニナツテ居ルモノモ澤山  
アル、昔ノ領主カラシテ贈與サレタモノモアルシ、  
又人民カラシテ御寺ヤ佛堂ヘ寄附シタモノモ澤山ア  
ルト云フヤウナ譯テ、境内地ガ寺院又ハ佛堂ノ所有  
ニナツテ居ルモノモ澤山アルノデアアルガ、其中デ或  
モノハ行政裁判ノ目的ヲ達シタモノモアル、或モ  
ノハ判例ノ出來ル以前ニ於テ、處分ヲ受ケタ爲メ  
ニ不幸ナル結果ヲ見タモノモアル、農商務省ニ於テ、  
却下サレタモノモアル、又初メカラ出願ラセズニシ

マツタモノモアルト云ウヤウナ譯デ、非常ニ區々ニ  
ナシテ居ルガ爲メニ、中ノ問題ニナツテ居ッテ、毎年議  
會ヘ請願ガ出來ルノデアリマシタ、其解決ラシテ  
貰ヒタイト云フコトヲ申シ、下戻ラシテ貰ヒタイト  
云フ、殊ニ法律案ノ衆議院ヲ通過シタコトモ度々ア  
ルノデアリマス、斯様ナモノニ對シマシテハ、實際言  
ヘバ其寺院又ハ佛堂ニ下戻ラシテヤル方ガ至當ノヤウ  
ニ思フノデアリマスガ、此國有財産法デハ、一切之  
ヲ無償ニシテ貸付ケルト云フコトニ相成ッテ居ルノ  
デアリマスルガ、斯様ナ區々ナル處分ニナツテ居ル  
ト云フノ訂正スル意味ヲ以テ、寧ロ寺院若クハ佛  
堂ノ境内地ハ、其寺院又ハ佛堂ニ下付スルト云フコ  
トニ致シテハドウデアアルカ、サウ云フ風ノコトニハ  
出來ナイモノデアアラウカ、政府ノ御意見ハ如何デア  
ラウカ、ソレヲ御伺ヒ致シタイトデアリマス

○田中政府委員 只今ノ御尋ハ二十四條ノコトデス

○宮古啓三郎君 サウデス  
○田中政府委員 二十四條ノ前段ニアリマス「佛堂  
ニ貸付シタルモノト看做ス ト云フノハ……

○宮古啓三郎君 其次ノ第二項モアリマス  
○田中政府委員 此境内地ノコトハ、實ハ農商務省  
ノ所管デアリマセヌノデ、内務省ノ所管ニナツテ居  
リマスガ、ドチラノ所管ニ致シマシテモ同ジコトデ  
アリマス、御話ノ通りデ詰リ今日ニ於テハ或ハ行政  
裁判所ニ於テモ、元々境内地ト云フモノハ一種ノ國  
有デアツテ所有權ガ其寺院ニ無イ、寧ロ國ノモノデ  
アルト云フヤウナ解釋ヲ採ッテ來タノデアリマス、  
其後ニ至ッテ行政裁判所モ判例ヲ改メテ、所有權ヲ  
認メルト云フコトニナツタノデアリマス、エライ法

律家ガ寄ッテ相談シテ、頭ヲ捻ッタヤウナ問題デア  
リマスルカラシテ、法律上色々ナ議論ガアルノデゴ  
ザイマセウ サウ云フ問題デアリマシタ結果、爭ヒ  
マシタ者ガ或ハ所有權ヲ得タ者モアリ、或ハ得ナイ  
者モアル譯デアリマス、ソレカラ又ツヒ其申立ラセ  
ズニ、只今御尋ノ如ク昔ノ通りマダ國有ニナツテ居  
ルモノモ殘ッテ居ルダラウト思ヒマス、併ナガラ其  
土地ニ依リ生ズル所ノ收益ノ如キハ、無論皆社寺ニ

於テ收得シテ居ルモノト思ヒマスルカラ、ソレハ所  
有權ガアルト云フコトニナツタモ、單ニ無償貸付ヲ  
受ケ居ル者ガアリマシテモ、格別ノ相違ハナイコト  
ト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、大ナル問題デナカ  
ラウカト云フ感ヲ實ハ持ッテ居ルノデアリマス 大  
藏省ノ政府委員カラドウ云フ風ニ御答ヲナサツタカ  
知レマセヌガ、境内地ヲ寺院ニ交付スルト云フコト  
ニ就テ、皆サンノ御議論ガサウ云フコトガアリマス  
レバ、政府トシテハドウシテモソレニ絶對ニ反對シ  
ナケレバナラヌ問題デアアルカナイカ、實ハ私ハマダ  
研究シテ居リマセヌノデアリマス、ソレカラ、此上  
地ニ係ル雜種財産ノ方ハ、稍々ソレト趣ヲ異ニシテ  
居ルダラウト思ヒマス、上地林ト云フモノハ、隨分  
區域モ廣イノデアリマシテ、此方ト境内地トハ餘程  
性質モ異ッテ居ルノデアリマス、之ヲ總テ寺院ニ交  
付スルト云フコトハ、無論出來マセヌノミナラズ、  
又ソレヲ無償デ總テ貸付ケルト云フコトモ、無論出  
來ナイト思ヒマス、ソレハ詰リ其必要ノ程度ニ應ジ  
テ、或制限ノ下ニシナケレバナラヌコトデアリマス  
ノデ、此方ハ林政上ニモ色々ナ關係ガアリマセウト  
思ヒマス、是ハ容易ニ御希望ニ副フ譯ニハイクマイ  
カト私ハ信ジテ居リマス、併ナガラ事實ニ於テハ、  
此社寺ノ上地林ニ就テハ、上地林ノ保管林ト云フ規  
則ガアリマシテ、上地林ヲ必要ナル程度ニ於テ、其  
上地ヲシタ社寺ニ保管ヲ託シマシテ、サウシテ其  
地林ヨリ生ズル所ノ收益ヲ程度ニ應ジテ、餘程モウ  
大部分——三分ノ二或ハ八割位マデモ、其社寺ノ保  
管ノ手数料トシテ——保管料トシテ收益ヲ與ヘルヤ  
ウナ途モ、既ニ今日ニ於テモ開カレテ居ルノデアリ  
マスカラ、社寺トシテハ其規則ニ依ッテ便益ヲ受ケ  
居ル意味ニ於テ、所有權ニ次グ程ノ利益ヲ得テ居ル  
ヤウナ有様デアリマス、サウシテ土地ハ官有デアリ  
マスカラ、租稅其他ノ負擔モ免レ、而シテ收益ノ方ハ  
場合ニ依ッテハ八割モ貰ヘルト云フヤウナ事ニナツ  
テ居リマスノデ、社寺ト云フモノニ對シテハ、國家  
ハ非常ニ重キヲ置イテ、社寺ノ維持ニ於テ困難ノコ  
トモナイヤウナ途モ開カレテ居ルノデアリマス、デ  
此方ハ第一項ノ如クニハ行クマイト思ヒマス、ソレ

デ第一項ノ方ハ前申上ゲマシタ通りニ、皆サンノ御意嚮ニ就キ、ドウシテモ全部ノ所有權ヲ有タシテ貰ヒタイト云フ熱心ナル御希望ガアレバ、政府ニ於テモ考慮スル事ダラウト思ヒマス

○宮古啓三郎君 國有林野下戻處分ガ非常ニ區々ニナツテ餘程迷惑ノ今日狀態ニナツテ居ル譯デアリマスガ、即チ國有林野ノ下戻法ト云フ法律ガ出來テ居リマスガ、ソレニ依ルト相當ノ證據ヲ以テ出願セヨト云フコトニナツテ居ルノデ、其證據ヲ以テ出願シテモ許可ニナツタモノモアリ、或ハ又不幸不許可ニナツタモノガアル、又其證據ト云フ事ヲ云ツテ居ルガ爲メニ、昔カラ村ニ爭ヒデモアリ、紛擾デモアッタヤウナ村ニハ證據ガ有リ、ソレガ無イ村ニハ證據ガ無イト云フ事モアリ、又貧乏ノ村デハ質ニ入レルトカ何トカシテ、種々ノ事情ノ爲メニ甲乙何等區別ノアルベキモノデナイ所ニ於テモ、一ハ下戻シナリ一ハ下戻シニナラヌト云フ譯デ、非常ニ區々ニナツテ居ルガ、其下戻ニ就テハ何レ政府ノ方ヘ御相談スル時機ガアラウト思ヒマスガ、其下戻法デナシニ豫ネテ衆議院ヲ通過シテ——元ト人民ニ於テ使用シ收益ヲ得テ居ツタ場所ハ、其村ヘ下付スルコトニシテ貰ヒタイト云フ建議案ガ、通過シテ居ルコトガアッタノデアリマスガ、サウ云フ區々ナ處分ニナツテ居ルコトニ就テハ、政府ニ於テ之ヲ解決シ救済スルト云フコトニ對シテ、何カ議ニ上ツテ居リマスマイカ、即チ豫テ議員ヨリ建議案トシテ出シテ通過シタ、村ニ下付スルト云フヤウナ事ニ就テモ、御考ハナイデアラウカ、其點ニ就テ今日ノ程度ニ於テハ、別ニ何等ノ事モナイノデアラウカドウカラ伺ヒマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、是マデノ下戻處分ト云フモノガ區々デアツテ、大變迷惑ヲ受ケテ居ル村ガアルト云フ御話ハ、私共モ度々受ケル所デアリマシテ、サウ云フ例モ多アル事ダラウト思ヒマス、併ナガラ一旦國家ノ財産ト決ツテ居リマスモノヲ證據無クシテ——證據ノ無イモノニ遣ルト云フコトハ、遣ルト云フテモ實ハ遣リヤウガナイノデ、是非常ニ六クシイ問題デアリマス、裏面ニ於テ話ヲ聞ケバ、或ハサウ云フ事カモ知ラス、併ナガラ國家ノ財産

ヲ處分スルト云フニハ、何カ何人ガ聞イテモ、何人ガ見テモ、是ハ確カナル證據デアルト云フ一ノ土臺ノ下ニ處分スルヨリ途ガ無イト思ヒマス、皆ナ之ヲ解放スルト云フ事ナレバソレハ別問題デアリマスガ、是ハ非常ニ遺憾ノ事ト思ツテ居リマス、居リマスガ、ドウモ政府ニ於テモ如何ナル行政手續ヲ採ルトシテモ、矢張今日マデヤリ來タヨリ外ノ方法ハ無イト信

二十四條ニ就テハ研究ノ餘地ガ十分アルト思ヒマスノデ、ドウカ適當ノ時機ニデモ十分御調ヲ願ヒマス、吾々モ圖書館ニ行ツテ十分調べマス、然ル後ニ御決定ヲ願フトシテ、ソレデ御質問ヲ留保致シマス、今日ハ是デ散會シテ下サルコトヲ望ミマス

○委員長(清水市太郎君) 本日ハ是ニテ閉會致シマシテ、明日午前十時カラヤラウト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ——午前十時ニ開キマス、尙ホ公報デ御知ラセシマス

午後四時十一分散會

ヲ得ズ三十二年デアリマシタカ、下戻法ト云フ法律ガ出テ、ソレハ打切ル方——今度デ打切ルト云フ意味デ、何十年モ續イテ來タ處分ヲ打切ツテ、其所デ極リヲ付ケタト云フ形ニナツテ居リマスノデ、ソレガ爲メニ或ハ期限ヲ失シテ大變迷惑ヲシテ居ル村等モアルサウデゴザイマスガ、是ハ國家ノ政策上已ムヲ得ヌ事デアルト、私共モ認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ先キノ御質問ニモアリマシタ通り、地方々々ニ依ツテ隨分山林ノ收益等ニ關シテ、昔ノ習慣ノ有無ニ拘ラズ、實際其村ノ生存上必要ナル薪炭材モ得ルコトノ出來ナイト云フ、即チ軒先カラ官林デアルト云フ所モ多クアリマス、ソレガ爲メニ山林ト町村トノ間ニ面白クナイ感ジモ起リ、後ニハ延テ愛林觀念モ薄クナルト云フ、是ハ國家ノ爲メニ非常ナル損害デアルト思ツテ、先刻モ申シマシタ通り成ベク其村ト親ミヲ厚クシテ、今日ノ社會ニ於テ許ス限リ便宜ヲ與ヘタイト云フノデ、薪炭材トカ、下草トカ、其他ノ副産物ヲ收得サセルトカ、或ハ政府デ其山林ヲ伐ツテモ其末ヲ無償デヤルトカ、枝ヤルトカ、相當ノ收益ヲ村ニ與ヘタイト云フコトヲ今計畫中デアリマスガ、其以外ニモウ一步進ンデ奮發スルト云フ協議ハマダ進ンデ居ラスノデアリマス

○竹上藤次郎君 今日ハ大分勞レテ來マシタカラ、此處ラデ止メタイト思ヒマス、ソレニ就キマシテ只今ノ事デアリマスガ、是ハ重大問題デアリマシテ、明治初年以來今ニ適當ノ解決ガ著カナイ事デ、今田中サンノ御話モアリマシタガ、敢テ私ニ於テモ無償下付ヲシテ吳レト云フ事ヲ望ムノデアリマセヌ、此